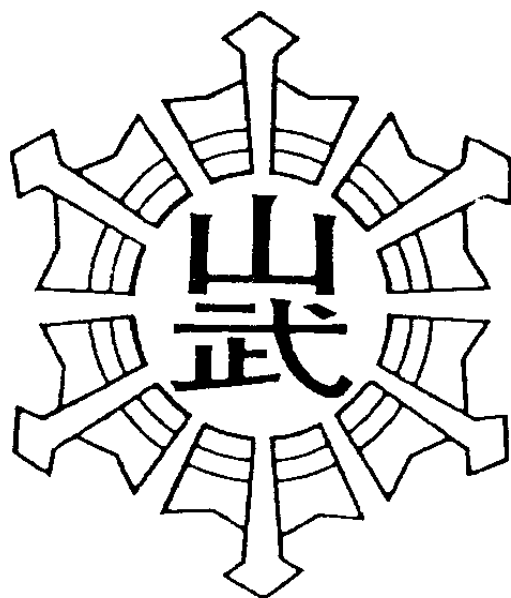


消防年報

平成 2 7 年 版



山武郡市広域行政組合消防本部

は し が き

- 1 この年報は、平成28年4月1日現在の本組合消防における消防現況及び平成27年中の主な消防事情を収録し、消防行政の合理的な運営と消防力の充実育成に資するために編集したものです。
- 2 統計は原則として暦年をもって表わし、予算等に関係のある事項については会計年度としたものです。

平成28年8月

山武郡市広域行政組合消防本部

目 次

総 務

山武郡市広域行政組合格約	1
組合消防の沿革	2
位置と地勢	10
山武郡市広域行政組合消防分布図	11
消防組織図	12
消防庁舎の現況	12
構成市町の概要	13
人口・世帯数の推移	13
対象物との比率	13
職員の定員と現員	13
職員の配置状況	14
職員の階級別勤続年数	14
職員の階級別年齢	14
消防学校等の主な研修	15
職員各種資格取得状況	16
平成 27 年度歳入歳出予算（当初）	17
構成市町負担金	17

予 防

市町別防火対象物数	18
届出及び証明発行件数	18
中高層防火対象物一覧表	19
市町別中高層防火対象物数	19
消防用設備等設置届出受理件数	20
消防用設備等点検結果報告状況	20
業態別建築同意件数	21
防火対象物定期点検報告制度	22
危険物許認可等事務処理状況	22
危険物製造所等設置状況	23

指 令

通信指令システム機器一覧	24
消防救急無線施設の状況	25
通信系統図（消防救急無線系を除く）	26
無線従事者選任状況	27

119番着信状況	27
気象情報受理状況	28
気象状況	28
緊急通報取扱状況	29

警 防

消防自動車等の配置状況	30
消防機材配置状況	31
消防団員数	32
消防団車両数	32
管内消防水利一覧表	32
消防機関の出動状況	33
救急活動状況と過去5年間の比較	34
救急講習会実施状況	34
救急隊別出場状況	35
市町別救急発生状況	35
月別救急出場状況	36
曜日別救急出場状況	37
管内管外搬送人員	37
事故種別年齢区分別搬送人員	37
事故種別傷病程度別搬送人員	38
事故種別搬送人員	38
時間別救急出場状況	39
事故種別応急処置状況	39
市町別ドクターヘリ出動件数一覧表	40
年別救助活動状況	41
救助活動状況	41

火災統計

火災種別発生状況・出火原因別火災件数・建物用途別焼損面積・初期消火器具使用状況	42
火災概況及び比較表	43
市町別火災発生状況	44
火災件数及び損害状況	44
月別火災発生件数及び損害状況	45
時間別火災発生状況	46
曜日別火災発生状況	46
年別火災原因別件数	47

総務

山武郡市広域行政組合規約 (抜粋)

(昭和 46 年 7 月 10 日 千葉県指令 第 1686 号)

(名称)

第 1 条 この組合は、山武郡市広域行政組合（以下「組合」という。）という。

(組合を組織する市町)

第 2 条 組合は、東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町及び横芝光町（以下「関係市町」という。）をもって組織する。

(共同処理する事務)

第 3 条 組合は、次の各号に掲げる事務を共同で処理する。

- (1) 山武郡市の振興整備に関する計画の策定及び実施のための連絡調整に関すること。
- (2) 山武郡市振興センターの設置、管理及び運営に関すること。
- (3) 養護老人ホームの設置、管理及び運営に関すること。
- (4) 老人福祉法（昭和 38 年法律第 133 号）に基づく老人デイサービスセンター（前号に規定する養護老人ホームに併設する老人デイサービスセンターに限る。）の設置、管理及び運営に関すること。
- (5) 電子計算機による処理事務に関すること（横芝光町に係るものを除く。）。
- (6) 一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥に係るものに限る。）の処理計画の策定、収集、運搬及び処分に関すること（横芝光町については、別表に掲げる区域とする。）。
- (7) 一般廃棄物処理業（し尿及び浄化槽汚泥に係るものに限る。）の許可及び浄化槽清掃業の許可に関すること（横芝光町については、別表に掲げる区域とする。）。
- (8) 火葬場施設の設置、管理及び運営に関すること（横芝光町については、別表に掲げる区域とする。）。
- (9) 消防事務（消防団事務を除く。）に関すること（横芝光町に係るものを除く。）。
- (10) 視聴覚教材センターの設置、管理及び運営に関すること。
- (11) 市町職員の共同研修に関すること。
- (12) 市町職員の統一採用試験の事務に関すること。
- (13) 山武郡市急病診療所の設置、管理及び運営に関すること。
- (14) 在宅当番医制事業に関すること。
- (15) 病院群輪番制方式による 2 次救急医療機関運営事業に関すること。
- (16) 介護認定審査会の設置及び運営に関すること。
- (17) 老人ホーム入所判定委員会の設置及び運営に関すること。
- (18) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 17 年法律第 123 号）に基づく介護給付費等の支給に関する審査会の設置及び運営に関すること。
- (19) 教育相談センターの設置、管理及び運営に関すること。
- (20) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく手話奉仕員養成研修事業に関すること。
- (21) 前各号に附帯する事務

(事務所の位置)

第 4 条 組合の事務所は、千葉県東金市東岩崎 1 番地 1 7 山武郡市振興センター内に置く

組 合 消 防 の 沿 革

- 昭和 42 年 4 月 1 日 東金市消防本部発足 水槽付ポンプ自動車 1 台・普通ポンプ自動車 1 台・指揮車 1 台
- 45 年 12 月 1 日 山武郡市（横芝町を除く。）は、広域組合消防の指定を受け、消防事務を共同処理することを決定した。
- 48 年 4 月 1 日 政令指定を受ける。
消防長に組合管理者石橋一弥氏が事務取扱、次長に金沢禎二氏が就任
山武郡市広域行政組合消防本部発足 構成市町村は、東金市・大網白里町・九十九里町・成東町・山武町・蓮沼村・松尾町・芝山町の 1 市 6 町 1 村、消防職員 31 名東金市消防本部より移行 消防庁舎・車輛等備品類は東金市より贈与される。消防職員 23 名採用、実員 54 名となる。
- 48 年 6 月 26 日 千葉県共済農業共同組合連合から救急車 1 台寄贈される。
芝山町役場内に救急隊（救急車 1 台、隊員 8 名）を配置し、救急業務を開始する。
- 48 年 7 月 1 日 救急車 2 台購入、救急車 4 台となる。
大網白里町・九十九里町・各役場内に救急隊（救急車 2 台、隊員 16 名）を配置し、救急業務を開始する。
- 48 年 10 月 1 日 水槽付ポンプ自動車 3 台・普通ポンプ自動車 1 台購入、ポンプ自動車 6 台となる。
- 48 年 11 月 14 日 連絡車 1 台・査察車 1 台購入、本部に配置する。
- 48 年 12 月 1 日 消防職員 実員 65 名となる。
- 49 年 2 月 1 日 日本自動車工業会から救急車 1 台寄贈され本署に配置、旧救急車を廃車する。
- 49 年 7 月 1 日 普通ポンプ自動車東金市消防団へ払下げ、ポンプ自動車 5 台となる。
- 49 年 8 月 1 日 成東町役場救急業務を引継ぎ救急隊員 8 名を配置し、救急業務を開始する。
- 49 年 10 月 1 日 水槽付ポンプ自動車 2 台購入、ポンプ自動車 7 台となる。
- 49 年 11 月 1 日 九十九里分遣所落成、職員 6 名増員し、分遣所実員 14 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置、業務を開始する。
- 49 年 12 月 1 日 大網白里分遣所落成、職員 6 名増員し、分遣所実員 14 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置、業務を開始する。消防職員 実員 93 名となる。
- 50 年 1 月 1 日 芝山分遣所落成、職員 6 名増員し、分遣所実員 14 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置、業務を開始する。
- 50 年 2 月 23 日 消防長に組合管理者早野尚治氏が事務取扱となる。
- 50 年 4 月 1 日 大網白里・九十九里・芝山分遣所に 2 名増員し、各分遣所実員 16 名となる。
- 50 年 6 月 1 日 山武分遣所落成、職員 16 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置、業務を開始する。
- 50 年 8 月 30 日 化学消防自動車 1 台購入、本署に配置する。
- 50 年 11 月 6 日 消防指揮車 1 台購入、本署に配置する。
- 50 年 12 月 31 日 消防職員 実員 115 名となる。
- 51 年 4 月 1 日 東金ライオンズクラブから緊急用赤バイク寄贈される。
- 51 年 9 月 1 日 次長に小出喜朗氏が就任
- 51 年 12 月 31 日 消防職員 実員 123 名となる。
- 52 年 12 月 31 日 消防職員 実員 124 名となる。
- 53 年 3 月 18 日 新東京国際空港公団、成田市消防本部、佐原市外五町消防組合消防本部、佐倉市外 2 町消防組合消防本部、八日市場市外 3 町消防組合消防本部、富里町消防本部、栄町消防本部と新東京国際空港消防相互応援協定を締結する。
- 53 年 6 月 1 日 蓮沼村役場内に救急車 1 台、職員 8 名配置し、救急業務を開始する。

- 昭和 53 年 12 月 31 日 消防職員 実員 134 名となる。
- 54 年 3 月 14 日 化学消防車 1 台購入、芝山分遣所に配置する。
- 54 年 4 月 14 日 千葉県消防設備保守協会から広報車寄贈され、消防本部に配置する。
- 54 年 8 月 29 日 東金ロータリークラブから救急車 1 台寄贈される。
- 54 年 12 月 31 日 消防職員 実員 137 名となる。
- 55 年 3 月 26 日 水槽付ポンプ自動車 1 台、普通ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台購入 (東消防署 (仮称) 配置用)
- 55 年 4 月 17 日 日本損害保険協会から水槽付ポンプ自動車 1 台寄贈され、消防署に配置する。
- 55 年 10 月 1 日 東消防署開設準備室を消防署に配置、職員 26 名を配置準備開始する。消防連絡車 3 台購入、東消防署準備室・芝山分遣所・山武分遣所に配置する。
- 55 年 11 月 1 日 成東町に 2 町 1 村 (成東町・松尾町・蓮沼村) の消防業務を実施する東消防署落成。職員 26 名、水槽付ポンプ自動車 2 台、普通ポンプ自動車 1 台、救急車 2 台 (内 1 台予備車) 配置、業務を開始する。同時に機構改革し、消防署を中央消防署に改称。成東救急隊、蓮沼救急隊を廃止する。
- 55 年 12 月 31 日 消防職員 実員 143 名となる。
- 56 年 6 月 1 日 八日市場市外 3 町消防組合消防本部に 119 番転送装置を設置する。(平成 10 年 5 月 31 日解除)
- 56 年 6 月 30 日 消防連絡車 2 台購入、大網白里分遣所・九十九里分遣所に配置する。
- 56 年 12 月 31 日 消防職員 実員 150 名となる。
- 57 年 4 月 1 日 消防職員 実員 155 名となる。
- 57 年 4 月 25 日 消防長に組合管理者野口洋一氏が事務取扱となる。
- 57 年 7 月 1 日 消防長に古川幸男氏が就任
- 57 年 12 月 14 日 救助工作車購入し、中央消防署に配置する。
- 57 年 12 月 27 日 東金市田間 太田昭雄氏から指揮車寄贈され、中央消防署に配置する。
- 58 年 4 月 1 日 消防本部課制施行 (総務課・予防課・警防課) され実員 154 名となる。
- 58 年 8 月 1 日 八日市場市外 3 町消防組合、佐倉市外 2 町消防組合と消防相互応援協定を締結する。
- 58 年 9 月 14 日 消防団本部に消防無線移動局 10W3 基 (東金市、九十九里町、山武町) 配置する。
- 58 年 11 月 17 日 救急車購入し、芝山分遣所に配置する。
- 59 年 1 月 28 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、東消防署に配置する。
- 59 年 6 月 1 日 佐倉市外 2 町 (組) 消防本部、八街分署に直通電話を設置する。(平成 5 年 9 月 1 日解除)
- 59 年 9 月 1 日 消防団本部に消防無線移動局 10W5 基 (大網白里町、成東町、松尾町、芝山町、蓮沼村) 配置する。
- 59 年 9 月 29 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、九十九里分遣所に配置する。
- 59 年 9 月 29 日 救急車 1 台購入、大網白里分遣所に配置する。
- 59 年 12 月 25 日 資材運搬車 (軽四輪貨物) 購入、消防本部に配置する。
- 60 年 10 月 1 日 消防音楽隊を発足する。
- 60 年 11 月 8 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、芝山分遣所に配置する。
- 61 年 3 月 28 日 日本損害保険協会から救急車 1 台寄贈され、中央消防署に配置する。
- 61 年 7 月 1 日 白里救急隊発足、救急業務を開始する。
- 61 年 11 月 18 日 水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台購入、山武分遣所に配置する。
- 61 年 12 月 1 日 白里救急隊庁舎落成。職員 8 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置し、消防業務を開始する。
- 62 年 4 月 1 日 大網白里分遣所を南消防署に改称、1 本部、3 署、3 分遣所、1 救急隊となる。

- 昭和 62 年 4 月 1 日 消防職員 実員 160 名となる。
- 62 年 12 月 10 日 水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台購入、中央消防署に配置する。
- 63 年 4 月 1 日 消防本部の組織の一部を改正し、警防課指令係が指令課となり、4 課制となる。
- 63 年 4 月 1 日 消防職員 実員 164 名となる。
- 63 年 5 月 1 日 消防長に片岡六郎氏が就任
- 63 年 7 月 27 日 日本消防協会から電源照明用資器材等搬送車寄贈される。東消防署に配置する。
- 63 年 12 月 15 日 化学消防ポンプ自動車 1 台購入、芝山分遣所に配置する。
- 平成元年 4 月 1 日 無線中継局設置、救急波導入、運用開始する。
- 元年 4 月 1 日 消防職員 実員 165 名となる。
- 元年 10 月 25 日 「千葉市、茂原市及び大網白里町の行政区域にかかるゴルフ場の火災救急等消防活動に関する申し合わせ。」について協定する。
- 元年 12 月 28 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、南消防署に配置する。
- 3 年 1 月 12 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、東消防署に配置する。
- 3 年 3 月 28 日 日本損害保険協会から救急車 1 台寄贈され、白里救急隊に配置する。
- 3 年 4 月 1 日 消防長に谷上順氏が就任
- 3 年 9 月 2 日 日本損害保険協会から消防指令広報車寄贈され、消防本部に配置する。
- 3 年 11 月 25 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、中央消防署に配置する。
- 4 年 2 月 26 日 日本損害保険協会から救急車 1 台寄贈され、九十九里分遣所に配置する。
- 4 年 4 月 1 日 消防職員 実員 169 名となる。
- 5 年 3 月 3 日 梯子付消防自動車 (40m) 1 台購入、中央消防署に配置する。
- 5 年 4 月 1 日 消防職員 実員 173 名となる。
- 5 年 5 月 21 日 広報車 1 台更新、予防課に配置する。
- 5 年 8 月 1 日 消防職員 4 名採用、実員 174 名となる。
- 5 年 11 月 30 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、九十九里分遣所に配置する。
- 6 年 4 月 1 日 消防職員 15 名採用、実員 186 名となる。
- 6 年 4 月 1 日 消防長職務代理者に次長櫻田光夫氏が就任
- 6 年 8 月 1 日 消防職員 4 名採用、実員 187 名となる。
- 6 年 8 月 31 日 連絡車 1 台更新、東消防署に配置する。
- 6 年 11 月 30 日 連絡車 2 台更新、山武分遣所・芝山分遣所に配置する。
- 7 年 1 月 10 日 化学消防ポンプ自動車 1 台更新、中央消防署に配置する。
- 7 年 3 月 16 日 救急自動車 1 台更新、芝山分遣所に配置する。
- 7 年 4 月 1 日 消防職員 12 名採用、実員 198 名となる。(週 40 時間勤務に対応)
- 7 年 4 月 5 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 7 年 9 月 8 日 平成 7 年度千葉県救急医療功労者として山武郡市広域行政組合消防本部が表彰される。
- 7 年 11 月 2 日 高規格救急自動車第 1 号を中央消防署へ配置する。(更新)
- 7 年 11 月 6 日 水槽付ポンプ自動車更新、東消防署に配置する。
- 8 年 1 月 17 日 緊急消防援助隊旗交付される。
- 8 年 4 月 9 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 8 年 4 月 1 日 消防職員 3 名採用、実員 200 名となる。
- 8 年 7 月 30 日 連絡車 1 台更新、九十九里分遣所に配置する。
- 8 年 8 月 29 日 消防職員条例定数改正、258 名となる。(平成 9 年 4 月施行)
- 8 年 10 月 14 日 (財)救急振興財団 救急救命九州研修所へ 1 名研修
- 8 年 10 月 1 日 消防組織法改正に伴い消防職員委員会を設置する。

平成9年3月11日 救急自動車(2B)2台更新、東、南消防署に配置する。

9年3月31日 救助工作車Ⅱ型更新、中央消防署に配置する。

9年4月1日 消防職員6名採用、実員206名となる。

9年4月1日 消防長に櫻田光夫氏が就任

9年4月8日 (財)救急振興財団 救急救命九州研修所へ1名研修

9年6月24日 人員搬送車としてマイクロバスを更新する。

9年8月7日 連絡車1台更新、山武分遣所に配置する。

9年12月1日 中央消防署増改築工事が完成する。

10年3月3日 救急自動車(2B)更新、山武分遣所に配置する。

10年4月1日 東金・成東警察署との専用回線を開設する。(平成25年1月31日解除)

10年4月1日 消防緊急通信指令施設(Ⅱ型)更新、運用を開始する。

10年4月1日 消防職員7名採用、実員212名となる。

10年4月1日 松尾町八田地区(約350住戸)の119番通報が全て当消防本部へ入電するようになる。

10年4月1日 消防本部の組織の一部を改正し、総務課に財務係、予防課に査察係を設ける。

10年5月20日 東消防署訓練施設用地購入(820㎡)に係わる契約を締結する。

10年10月8日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修

10年12月16日 高規格救急自動車第2号を東消防署に配置する。(更新)

11年3月1日 救急自動車(2B)更新、九十九里分遣所に配置する。

11年3月23日 南消防署白里救急隊庁舎増築工事が完成する。

11年3月31日 指揮原因調査車更新、警防課に配置する。

11年4月1日 消防職員7名採用、実員218名となる。

11年4月8日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修

11年5月1日 書庫の整備(アクアプラント内、庁舎)

11年8月1日 成田市・芝山町・山武郡市広域行政組合消防相互応援協定を締結する。

11年10月13日 (財)救急振興財団 救急救命九州研修所へ1名研修

11年10月24日 指揮車更新、中央消防署に配備する。

12年3月21日 救急自動車(2B)更新、芝山分遣所に配備する。

12年3月22日 水槽付ポンプ自動車(救助資器材装備)更新、芝山分遣所に配置する。

12年4月1日 消防職員7名採用、実員224名となる。

12年4月1日 3消防署に日勤の副署長を置く。

12年4月10日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修

12年5月1日 「消防力適正配置検討委員会」を設置する。

12年9月1日 第21回七都縣市合同防災訓練が東金市「千葉県会場」で開催される。

12年10月12日 連絡車1台更新、警防課に配置する。

13年2月23日 消防力適正配置検討委員会での調査報告書を答申する。

13年3月8日 山武郡市広域行政組合消防本部、大網白里町消防団に消防庁長官表彰旗が授与される。

13年3月23日 水槽付ポンプ自動車(救助資器材装備)更新、山武分遣所に配置する。

13年3月31日 山武郡市振興センター内の消防本部事務室の改修工事が完了する。

13年4月1日 消防職員7名採用、実員230名となる。

13年4月10日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修

13年9月20日 連絡車1台更新、総務課に配置する。

13年10月10日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修

13年12月17日 水槽付ポンプ自動車更新、中央消防署に配置する。

- 平成 13 年 12 月 21 日 高規格救急自動車第 3 号を南消防署に配置する。(更新)
- 14 年 2 月 6 日 消防施設整備計画を策定する。
- 14 年 4 月 1 日 消防職員 10 名採用、実員 235 名となる。
- 14 年 4 月 1 日 消防長に秋葉治夫氏が就任
- 14 年 8 月 30 日 梯子付消防自動車のオーバーホールを完了する。
- 14 年 9 月 25 日 査察広報車更新、予防課へ配置する。
- 14 年 10 月 1 日 東京消防庁消防学校、救急救命士養成課程へ 1 名研修
- 14 年 11 月 12 日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「さいたま市会場」で開催され、消火部隊が参加する。
- 14 年 12 月 13 日 高規格救急自動車更新、中央消防署に配置する。
- 15 年 1 月 18 日 千葉県主催「防災フェアちば 2003 in 東金」が東金市・山武郡市広域行政組合消防本部
19 日 共催で開催される。
- 15 年 3 月 14 日 芝山分遣所庁舎建設用地購入 (3,642.09 m²)
- 15 年 3 月 25 日 水槽付ポンプ自動車(救助資機材装備)更新、南消防署に配置する。
- 15 年 4 月 1 日 消防職員 12 名採用、実員 242 名となる。
- 15 年 9 月 3 日 広報車 1 台更新、予防課に配置する。
- 15 年 10 月 7 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 15 年 10 月 28 日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「甲府市会場」で開催され、消火部隊が参加する。
- 15 年 11 月 3 日 今関十九二氏(元職員)叙勲(危険分野)受章
- 16 年 4 月 1 日 消防職員 9 名採用、実員 246 名となる。
- 16 年 4 月 1 日 消防長に古川勝也氏が就任
- 16 年 4 月 5 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 16 年 10 月 4 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 16 年 12 月 10 日 水槽付ポンプ自動車更新、東消防署へ配置する。
- 16 年 12 月 15 日 救急自動車(2B)更新、白里救急隊に配置する。
- 17 年 2 月 28 日 芝山分遣所庁舎移転新築工事が完成する。
- 17 年 4 月 1 日 3 分遣所を分署、1 救急隊を出張所と改称する。
- 17 年 4 月 1 日 消防職員 5 名採用、実員 249 名となる。
- 17 年 4 月 1 日 東京消防庁消防学校、救急救命士養成課程へ 1 名研修
- 17 年 4 月 5 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 17 年 10 月 4 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 17 年 12 月 20 日 高規格救急自動車第 4 号を山武分署に配置する。(更新)
- 18 年 4 月 1 日 消防職員 5 名採用、実員 251 名となる。
- 18 年 4 月 1 日 消防本部の組織の一部を改正し、総務課に企画係を設け、警防課の救急救助係を救急係に改め、新たに救助係を設ける。
- 18 年 4 月 6 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 18 年 10 月 1 日 消防職員 1 名採用
- 18 年 11 月 14 日 水槽付ポンプ自動車を更新、中央消防署に配置する。
- 18 年 12 月 22 日 高規格救急自動車第 5 号を九十九里分署に配置する。(更新)
- 18 年 12 月 22 日 高規格救急自動車第 6 号を東消防署に配置する。(更新)
- 19 年 2 月 2 日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、第 3 ブロック指揮隊、救助部隊が参加する。
- 19 年 4 月 1 日 消防職員 7 名採用、実員 256 名となる。

- 平成 19 年 4 月 1 日 救急隊 1 隊増隊し高規格救急自動車第 2 号を中央消防署へ配置する。
- 19 年 4 月 6 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 19 年 9 月 1 日 第 28 回八都県市合同防災訓練が「市原市」で開催され、救助部隊、救急部隊が参加する。
- 19 年 9 月 10 日 横浜市安全管理局、救急救命士養成所へ 1 名研修
- 19 年 10 月 20 日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「前橋市会場」で開催され、消火部隊が参加する。
- 20 年 2 月 1 日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 20 年 2 月 25 日 災害対応特殊化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を更新、芝山分署へ配置する。
- 20 年 2 月 29 日 水槽付ポンプ自動車を更新、九十九里分署へ配置する。
- 20 年 4 月 1 日 消防職員 7 名採用、実員 258 名となる。
- 20 年 4 月 1 日 消防長に布留川富夫氏が就任
- 20 年 4 月 4 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 20 年 9 月 9 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 20 年 11 月 3 日 小出喜朗氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 20 年 12 月 3 日 消防職員 1 名採用
- 21 年 1 月 30 日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 21 年 2 月 17 日 災害対応特殊救急自動車第 7 号を芝山分署へ配置する。（更新）
- 21 年 4 月 1 日 消防職員 4 名採用
- 21 年 4 月 6 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 21 年 9 月 9 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 21 年 9 月 5 日 第 30 回八都県市合同防災訓練が山武市「千葉県会場」で開催
- 21 年 11 月 3 日 片岡六郎氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 21 年 11 月 14 日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「千葉市会場」で開催され、消火部隊及び救助部隊が参加する。
- 22 年 4 月 1 日 消防職員 4 名採用
- 22 年 4 月 6 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 22 年 4 月 29 日 谷上順氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 22 年 6 月 1 日 消防職員 1 名採用
- 22 年 9 月 9 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 23 年 1 月 27 日 消防ポンプ自動車（CD-I 型）を更新、白里出張所へ配置する。
- 23 年 3 月 20 日 「東北地方太平洋沖地震」の被災地に緊急消防援助隊千葉県隊第 3 次派遣隊として消火部隊及び後方支援部隊 10 名で、岩手県陸前高田市へ出動する。
- 23 年 3 月 28 日 「東北地方太平洋沖地震」の被災地に緊急消防援助隊千葉県隊第 6 次派遣隊として救急部隊及び後方支援部隊 6 名で、福島県福島市へ出動する。
- 23 年 4 月 1 日 消防職員 5 名採用
- 23 年 4 月 1 日 消防長に元倉斗史一氏が就任
- 23 年 4 月 1 日 条例定数 278 名に改正
- 23 年 4 月 1 日 「東北地方太平洋沖地震」の被災地に緊急消防援助隊千葉県隊第 7 次派遣隊として救急部隊及び後方支援部隊の交代要員として 6 名で、福島県福島市へ出動する。
- 23 年 4 月 4 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 23 年 9 月 9 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 24 年 2 月 29 日 東金市家徳に消防本部・中央消防署合同庁舎が完成
- 24 年 3 月 22 日 高規格救急自動車第 1 号更新、中央消防署へ配置する。
- 24 年 3 月 27 日 消防本部・中央消防署合同庁舎落成式開催

- 平成24年4月1日 消防職員12名採用、実員263名となる。
- 24年4月1日 中央消防署へ指揮隊を配置する。
- 24年4月5日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 24年9月10日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 25年1月29日 支援車Ⅱ型1台購入、中央消防署に配置する。
- 25年1月31日 消防本部指令課が消防本部・中央消防署合同庁舎へ移転する。
- 25年2月19日 山武郡市広域行政組合消防庁舎建設基本計画を策定する。
- 25年2月24日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 25年3月21日 高規格救急自動車更新、南消防署に配置する。
- 25年4月1日 ちば消防共同指令センター（千葉県北東部・南部ブロックの20消防（局）本部による）が開設する。
- 25年4月1日 東消防署及び南消防署へ指揮隊を配置する。
- 25年4月1日 消防職員13名採用、実員267名となる。
- 25年4月1日 消防長に大塚雅彦氏が就任
- 25年4月4日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 25年7月25日 連絡車3台購入。中央消防署、東消防署及び南消防署に配置する。
- 25年9月3日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 26年1月24日 災害対応特殊救急自動車更新、中央消防署に配置する。
- 26年1月30日 高規格救急自動車更新、東消防署に配置する。
- 26年2月1日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 26年3月13日 消防ポンプ自動車（CD-I型）更新、南消防署に配置する。
- 26年4月1日 南消防署にポンプ小隊を1隊増隊する。
- 26年4月1日 消防職員15名採用、実員272名となる。
- 26年4月4日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 26年6月27日 南消防署庁舎建設用地購入（3,145.44 m²）
- 26年9月1日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 26年11月3日 秋葉治夫氏（元職員）叙勲（秋の叙勲）受章
- 26年11月3日 小倉静雄氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 26年11月5日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「浜松市会場」で開催され、消火部隊が参加する。
- 26年11月19日 指揮車更新、東消防署に配置する。
- 27年1月31日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 27年3月12日 化学消防自動車（Ⅱ型）更新、中央消防署に配置する。
- 27年3月12日 消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入、中央消防署に配置する。
- 27年4月1日 消防職員19名採用、実員273名となる。
- 27年4月1日 消防長に押田信明氏が就任
- 27年4月1日 消防本部の組織の一部を改正し、警防課の調査係を予防課調査係に、予防課指導係を予防課危険物係に改める。
- 27年4月3日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 27年4月29日 今関多田雄氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 27年8月10日 東消防署山武分署庁舎移転工事が完了
- 27年9月2日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 27年9月28日 東消防署山武分署庁舎落成式開催
- 27年11月3日 岩崎喜好氏（元職員）叙勲（危険分野）受章

- 平成27年11月13日 緊急消防援助隊全国合同訓練が千葉県内各地で開催され、当組合消防本部管内の山武市が被災地想定となり、山武市災害対策本部及び当組合消防本部指揮本部が参加する。
- 27年11月14日 緊急消防援助隊全国合同訓練が千葉県内各地で開催され、被災地消防本部として指揮小隊、消火小隊、救助小隊が参加する。
- 28年3月7日 救助工作車（Ⅲ型）1台、高度救助用器具及びNBC資器材購入、中央消防署に配置する。既存救助工作車（Ⅱ型）を東消防署に配置する。
- 28年3月9日 消防ポンプ自動車（CD-I型）2台購入、東消防署及び九十九里分署に配置する。
- 28年3月24日 高度救助隊発隊式開催
- 28年4月1日 中央消防署に高度救助隊、東消防署に特別救助隊、南消防署に救助隊を配置する。
- 28年4月1日 消防職員14名採用
- 28年4月1日 消防長に鈴木嘉宏氏が就任

位置と地勢

位置

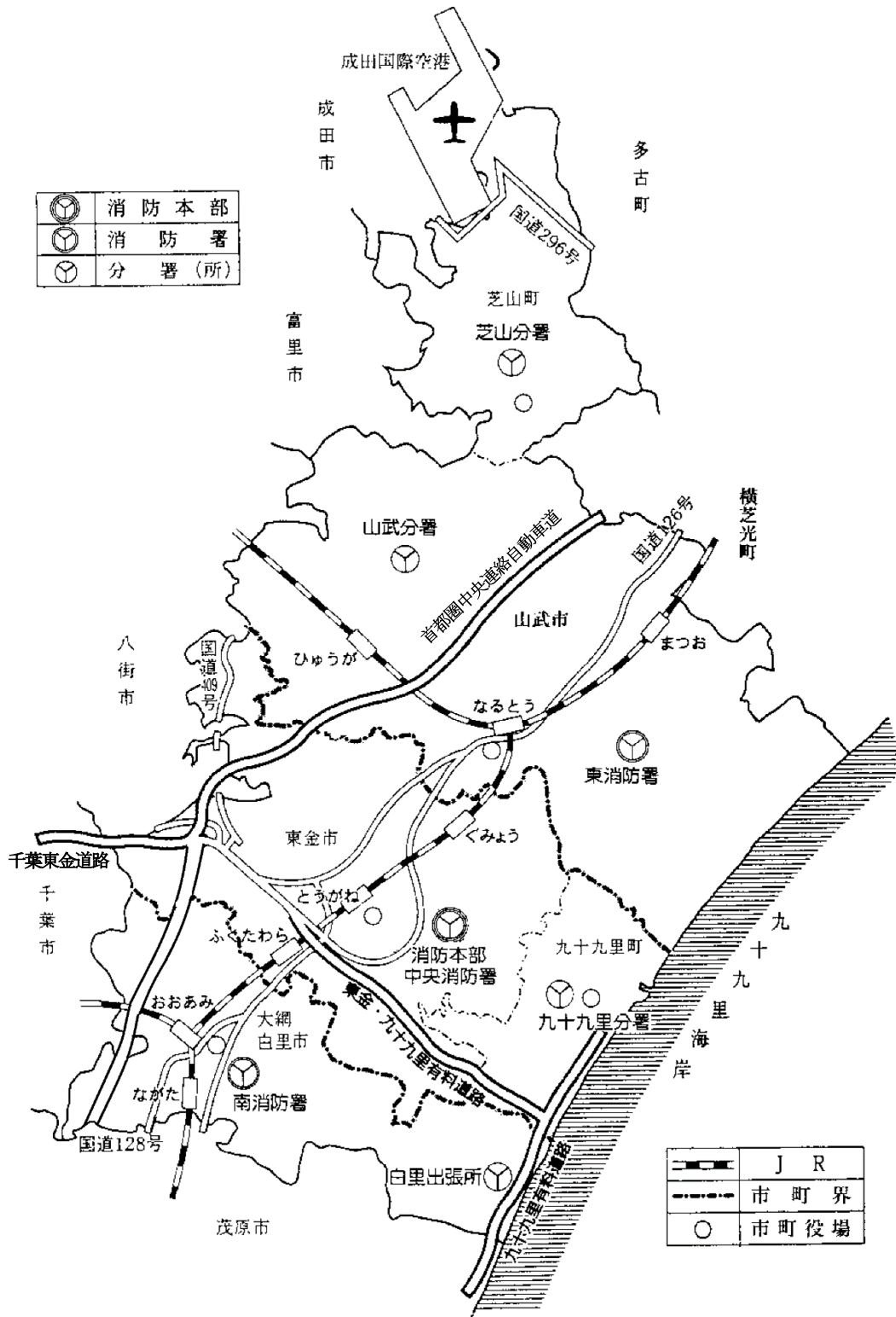
山武郡市は、千葉県の一部に位置し、九十九里平野の中央部と両総台地の一部からなっており、北は香取郡、匝瑳市及び成田市、西は八街市、富里市及び千葉市と接し、更に南は長生郡市に連なり、東方一帯は太平洋に面している。

地勢

地形は、ほぼ矩形をなし、西高東低で東方一帯は緩く九十九里海岸は弓状の長浜となり、南西部から北西部に続く両総台地は、標高 40m から 100m の洪積台地で表面は、一般に関東ローム層に被われている。その中間の平野地帯は、主として低層泥炭地と旧砂丘とからなる洪積平野である。

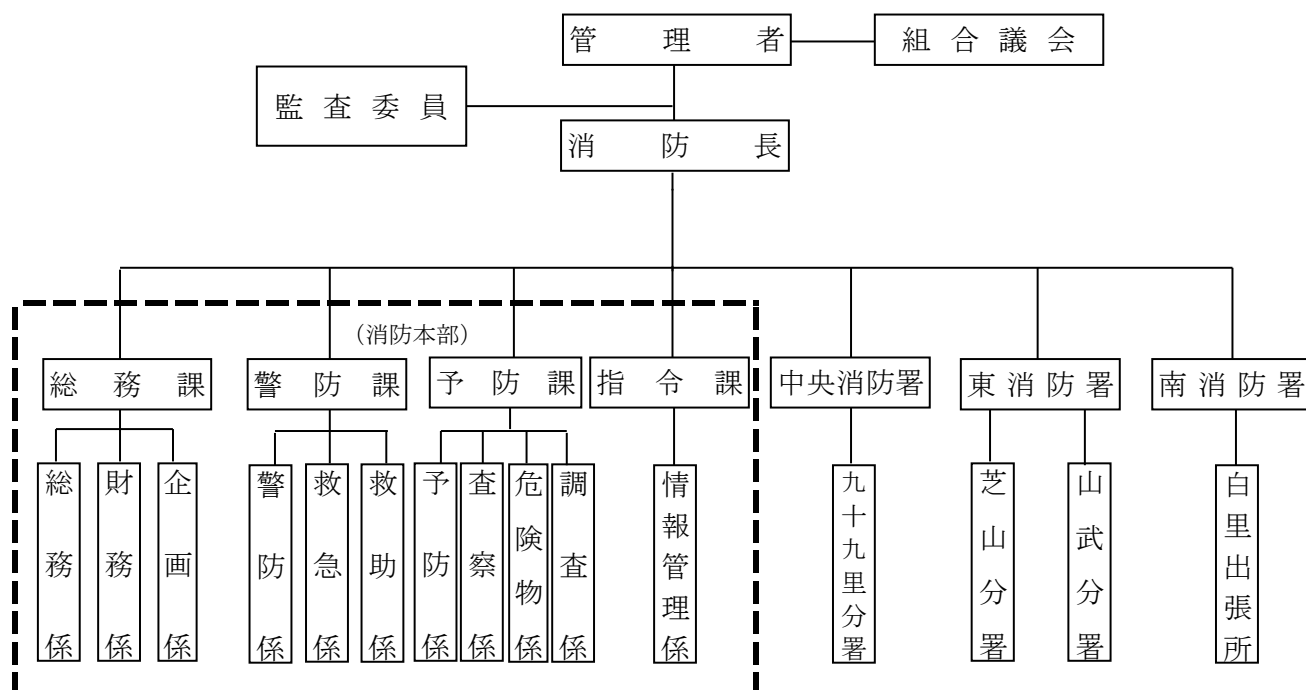


山武郡市広域行政組合消防分布図



消 防 組 織 図

(平成28年4月1日)



消 防 庁 舎 の 現 況

区分 施設名	所在地	建 年 月 日	構 造	延 面 積	敷 地 面 積
消 防 本 部 中 央 消 防 署	東金市家徳384-2	H24.2	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造4階建	3,679.03㎡	7,008.04㎡
東 消 防 署	山武市上横地6710	S55.1	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建	592.00㎡	5,347.87㎡
南 消 防 署	大網白里市富田861-1	S49.12	鉄筋コンクリート造 2 階 建	372.10㎡	1,712.91㎡
九十九里分署	九十九里町片貝2520	S49.11	鉄筋コンクリート造 2 階 建	372.10㎡	1,489.00㎡
芝 山 分 署	芝山町宝馬233	H17.2	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建	896.00㎡	3,642.09㎡
山 武 分 署	山武市埴谷1874-1	H27.8	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建	1,538.51㎡	4,617.49㎡
白里出張所	大網白里市南今泉4616-1	S61.12	鉄骨造平屋建	130.01㎡	744.25㎡

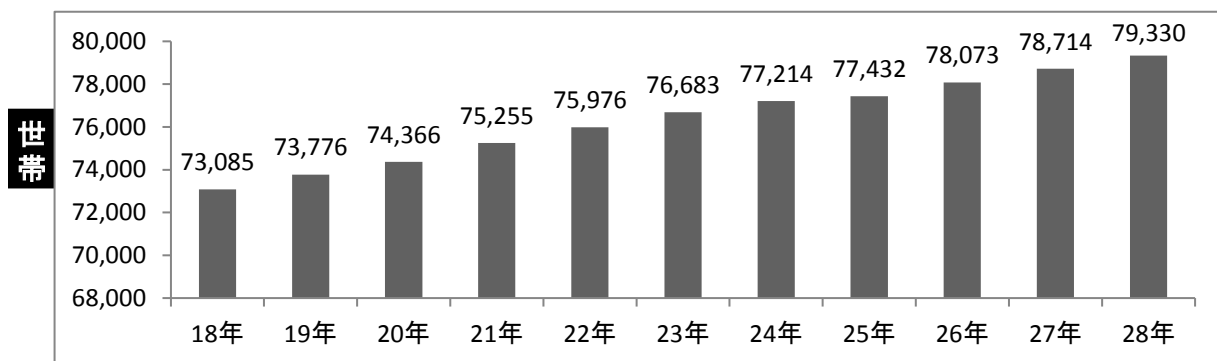
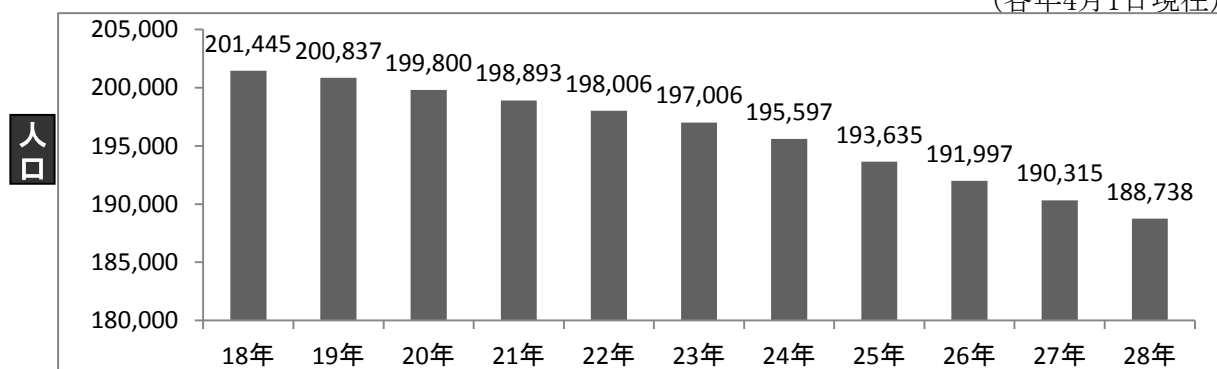
構成市町の概要

(平成28年4月1日現在)

市町名	面積(km ²)	人口(人)			世帯数(世帯)
		男	女	計	
東金市	89.12	29,809	30,153	59,962	26,097
山武市	146.77	26,961	26,905	53,866	22,087
大網白里市	58.08	24,951	25,414	50,365	21,028
九十九里町	24.45	8,351	8,612	16,963	7,194
芝山町	43.24	3,813	3,769	7,582	2,924
計	361.66	93,885	94,853	188,738	79,330

人口・世帯数の推移

(各年4月1日現在)



対象物との比率

(平成28年4月1日現在)

単 位	面 積(km ²)	人 口(人)	世帯数(世帯)
消 防 職 員 1 人 当 り	1.32	691.35	290.59
自 動 車 ポ ンプ 1 台 当 り	27.82	14,518.31	6,102.31

職員の定員と現員

(平成28年4月1日現在)

区分	階級	消 正	防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	その 他 の 職 員	計
定 員												278
現 員		1	5	10	37	110	34	11	65			273

職員の配置状況

(平成28年4月1日現在)

区分	階級	消 正	防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士	消 防 長	消 防 副 士 長	消 防 士	その 他 の 職 員	計
本 部	消 防 長	1											1
	総 務 課			1	1	2	5	1					10
	警 防 課			1		4	2	2					9
	予 防 課			1	1	1	5	3			1		12
	指 令 課				2	2	7	2	1				14
署 所	中 央 消 防 署			1		7	30	11	2	18			69
	九 十 九 里 分 署				1	3	10	1	1	7			23
	東 消 防 署			1	1	5	14	4	3	11			39
	芝 山 分 署				1	3	9	2	1	7			23
	山 武 分 署				1	3	10	1		8			23
	南 消 防 署				2	5	14	4	2	12			39
	白 里 出 張 所					2	4	3	1	1			11
計		1	5	10	37	110	34	11	65			273	

職員の階級別勤続年数

(平成28年4月1日現在)

年 数	階級	消 正	防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士	消 防 長	消 防 副 士 長	消 防 士	その 他 の 職 員	計
5 年 未 満									4	64			68
5 年 以 上 ～ 10 年 未 満							1	19	7	1			28
10 年 以 上 ～ 15 年 未 満							26	14					40
15 年 以 上 ～ 20 年 未 満						1	31						32
20 年 以 上 ～ 25 年 未 満						4	42						46
25 年 以 上 ～ 30 年 未 満					1	7	5						13
30 年 以 上		1	5	9	25	5	1						46
計		1	5	10	37	110	34	11	65				273

職員の階級別年齢

(平成28年4月1日現在)

年 齢	階級	消 正	防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士	消 防 長	消 防 副 士 長	消 防 士	その 他 の 職 員	計
18 歳 ～ 20 歳											15		15
21 歳 ～ 25 歳										5	43		48
26 歳 ～ 30 歳								16	5	7			28
31 歳 ～ 35 歳							16	15	1				32
36 歳 ～ 40 歳							51	2					53
41 歳 ～ 45 歳						7	34						41
46 歳 ～ 50 歳						6	3						9
51 歳 ～ 55 歳					5	11	1						17
56 歳 ～ 60 歳		1	5	5	13	5	1						30
計		1	5	10	37	110	34	11	65				273

消防学校等の主な研修

(平成28年4月1日現在)

区分		年度別	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (予定)	
消防 大学 校	幹部科		1	1	1	1			
	上級幹部科								
	警防科			1					
	救助科					1		1	
	救急科								
	予防科								
	火災調査科				1				
	高度救助コース・ 特別高度救助コース						2	1	
県 消 防 学 校	初任科		5	12	13	15	15	13	
	特殊災害科		2	2	2	2	2	1	
	予防査察科					1		1	
	危険物科					1			
	火災調査科		1				1		
	救急科		7	6	6	8	6	8	
	救助科		2	2	2	2	2	2	
	初級幹部科								
	中級幹部科								
	訓練指導科			2	2	2	2	2	
	はしご講習		2	2	2	2	2	2	
	救急救命士処置範囲 拡大2行為追加講習						4	8	
	そ の 他	救急救命士研修所		2	2	2	2	2	2
指導救命士養成研修						1		1	
救助潜水土養成講習							4	6	
行政 組合 職員 研修		初級職員研修		2	2	4	4	6	7
		中級職員基礎研修		2	2	2	2	2	2
		中級職員応用研修		2	2	2	2	2	2
		中堅職員基礎研修		2	2	1	2	2	2
		中堅職員応用研修		2		2	2	2	2
		管理職員研修			1	1	1	1	2
		接遇セミナー					2		
		人事評価者研修							3
		メンタルヘルス セミナー							
公務員倫理			2		2				
県自治専門校研修		1	4	6	6	7	8		

職員各種資格取得状況

(平成28年4月1日現在)

種別	階級 消防司令長 以上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
大型自動車運転免許	14	21	98	27	8	19	187
中型自動車運転免許			2	10	5	13	30
大型特殊運転免許	2	3	6	2	1		14
けん引運転免許			1				1
小型船舶免許		2	39	10	3	3	57
潜水士	1	2	18	4	2	1	28
陸上特殊無線技士	8	29	104	33	11	47	232
甲種危険物取扱者	1		2	1			4
乙種危険物取扱者 (1～6類)	5	16	52	33	9	43	158
消防設備士甲種	1		1				2
消防設備士乙種	1	2	5	2		1	11
予防技術資格者	3	4	7	1			15
ガス溶接技能講習	11	20	56	7	3	2	99
アーク溶接技能講習	2	1	5	2	1		11
クレーン免許	3	1					4
小型移動式クレーン	9	15	41	8	1	1	75
玉掛技能講習	10	9	37	6	1	1	64
第2種酸素欠乏危険作業 主任者	2		6	4	1	1	14
第2種酸素欠乏危険作業 特別講習	1	6	7				14
電気工事士(1種)	1						1
ボイラー技士			1				1
衛生管理者	1	3	4				8
救急救命士	1	5	29	5		4	44
ベーシックサーフ ライフセーバー			10	7			17

平成27年度 歳入歳出予算書（当初）

歳入

（単位 千円）

科 目		本年度予算額	前年度予算額	比 較
1 分担金及び負担金	1 負 担 金	2,712,157	2,682,106	30,051
2 使用料及び手数料	2 手 数 料	1,265	2,214	△ 949
3 国 県 支 出 金	1 国 県 補 助 金			0
4 そ の 他		916,333	288,168	628,165
歳 入 合 計		3,629,755	2,972,488	657,267

歳出

（単位 千円）

科 目		本年度予算額	前年度予算額	比 較
5 消 防 費	1 消 防 費	3,428,847	2,786,644	642,203
7 公 債 費	1 公 債 費	200,908	185,844	15,064
歳 出 合 計		3,629,755	2,972,488	657,267

構成市町負担金

（単位 千円）

区 分 市町名	議 員 数	本年度予算額	前年度予算額	比 較
東 金 市	2	739,549	730,084	9,465
山 武 市	2	914,982	906,881	8,101
大 網 白 里 市	2	623,027	614,489	8,538
九 十 九 里 町	2	282,049	279,174	2,875
芝 山 町	2	152,550	151,478	1,072
計	10	2,712,157	2,682,106	30,051

予 防

市町別防火対象物数

(平成27年12月31日現在)

令別表項別		市町名	東 金 市	山 武 市	大 網 白 里 市	九 十 九 里 町	芝 山 町	合 計	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2				2	4	
	ロ	公会堂、集会場	12	6	5	5	5	33	
2	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類							
	ロ	遊技場、ダンスホール	9	4	1	1	1	16	
	ハ	風俗営業等(総務省令で定めるもの)							
3	イ	待合、料理店の類	1	1			1	3	
	ロ	飲食店	24	13	7	7	1	52	
4		百貨店、マーケット、物品販売業	109	50	35	14	7	215	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	25	29	16	18	1	89	
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	300	76	85	16	41	518	
6	イ	病院、診療所、助産所	30	14	10	4	2	60	
	ロ	(1)	老人福祉施設等(自力避難困難者の入所施設等)	12	11	13	5	2	43
		(2)	救護施設						
		(3)	乳児院						
		(4)	障害児入所施設等						
		(5)	障害者支援施設	1	4	3			8
	ハ	(1)	老人福祉施設等(ロ以外の老人福祉施設)	12	6	4	1	1	24
		(2)	更生施設						
		(3)	助産施設、保育所等	9	9	7	4	3	32
		(4)	児童発達支援センター等						
(5)		身体障害者福祉センター等	1		6	1		8	
ニ	幼稚園又は特別支援学校	13	5	12	2	1	33		
7		小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	71	55	31	13	3	173	
8		図書館、博物館、美術館	1	1		3	4	9	
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	1					1	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1					1	
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場		1	1			2	
11		神社、寺院、教会の類	8	3	2	2		15	
12	イ	工場、作業場	236	252	56	59	115	718	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫、駐車場	6	10	2	1	13	32	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫							
14		倉庫	180	150	31	32	102	495	
15		前各項に該当しない事業場	164	128	59	29	70	450	
16	イ	特定用途が存する複合用途防火対象物	69	33	34	10	4	150	
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	17	21	8	4	7	57	
16の2		地下街							
16の3		地下道							
17		重要文化財、重要民俗資料、史跡等				1		1	
合 計			1,316	882	428	232	386	3,244	

※ 300㎡以上の対象物数

届出及び証明発行件数

(平成27年)

種 別	火 災 予 防 条 例														そ の 他					計									
	禁止行為の解除承認申請	火災予防上の必要な業務に関する届出	防火対象物使用開始(変更)届出	消防訓練実施届出	設置(変更)・廃止届出等	設置(変更)・廃止届出等	電球の設置届出	気球の設置届出	水素ガスを充てんする行為	火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為	煙火打上げ・仕掛け届出	催物開催届出	水道の断水・減水の届出	道路工事の届出	露店等開設の届出	指定洞道の届出	(変更)・廃止届出	(少量危険物の貯蔵・取扱い)・廃止届出	指定可燃物の貯蔵・取扱い(変更)・廃止届出		工事中の消防計画の届出	(変更)・廃止届出	核燃料物質等の貯蔵・取扱い(変更)・廃止届出	又は取扱いの開始(廃止)届出	圧縮アセチレンガス等の貯蔵	防火管理者(選任・解任)届出	消防計画(作成・変更)届出	意見書交付申請	消防法令適合通知書交付申請
	24	1	115	712	46	87			266	83	14		279	116		30	4	8	7	19	213	256				11	56	5	2,352

中高層防火対象物一覽表

(平成27年12月31日現在)

令別表項別		階 数															計	
		3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	39階			
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場																	
	ロ 公会堂、集会場	5	1														6	
2	イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類																	
	ロ 遊技場、ダンスホール																	
	ハ 風俗営業等(総務省令で定めるもの)																	
	ニ カラオケボックス等(総務省令で定めるもの)																	
3	イ 待合、料理店の類																	
	ロ 飲食店	10															10	
4	百貨店、マーケット、物品販売業	16	2			1											19	
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	6	4	4	1		1										16	
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	76	27	11	4	2	2	1	3			1	3	1			131	
6	イ 病院、診療所、助産所	10	6	4	1	1											22	
	ロ	(1) 老人福祉施設等(自力避難困難者の入所施設等)	10		1													11
		(2) 救護施設																
		(3) 乳児院																
		(4) 障害児入所施設等																
		(5) 障害者支援施設																
	ハ	(1) 老人福祉施設等(ロ以外の老人福祉施設)	2															2
		(2) 更生施設																
		(3) 助産施設、保育所等																
		(4) 児童発達支援センター等																
(5) 身体障害者福祉センター等		1															1	
ニ 幼稚園又は特別支援学校	4	2														6		
7	小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	40	19	5	2		1										67	
8	図書館、博物館、美術館			1													1	
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場																	
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場																	
10	車両の停車場、船舶又は航空機の発着場																	
11	神社、寺院、教会の類	2															2	
12	イ 工場、作業場	37	6	4				1									48	
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ																	
13	イ 自動車車庫、駐車場			1													1	
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫																	
14	倉庫	12	10	5	4		1										32	
15	前各項に該当しない事業場	61	12	7												1	81	
16	イ 特定用途が存する複合用途防火対象物	49	14	2									1				66	
	ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	23	4			1	1										29	
16の2	地下街																	
16の3	地下道																	
17	重要文化財、重要民俗資料、史跡等																	
合 計		364	107	45	12	5	6	2	3			1	4	1	1		551	

市町別中高層防火対象物数

(平成27年12月31日現在)

市町名	階 数															計	
	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	39階			
東 金 市	195	49	23	3	3	2		3				1	1				280
山 武 市	78	25	7	1	1	2						2					116
大 網 白 里 市	46	20	2	4	1	1	1				1	1					77
九 十 九 里 町	26	1	1														28
芝 山 町	19	12	12	4		1	1									1	50
計	364	107	45	12	5	6	2	3			1	4	1	1			551

消防用設備等設置届出受理件数

(平成27年)

消 火 器	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備	泡 消 火 設 備	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	粉 末 消 火 設 備	屋 外 消 火 設 備	動 力 消 防 ポン プ 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯	消 防 用 水 備 用 機 器	排 煙 設 備	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管 備	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	無 線 通 信 補 助 設 備	合 計	
67	15	13					6	2	113			13	17	14	71				1				332

消防用設備等点検結果報告状況

(平成27年)

一		二		三		四		五		六					七		八		九		十		十一		十二		十三		十四		十五		十六		十七		合 計			
イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	ロ					ハ		ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ					
										(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)																					
劇場、映画館、観覧場	公会堂又は集会場	キャバレー、カフェ、ナイトクラブその他	遊技場又はダンスホール	風俗営業等(総務省令で定めるもの)	カラオケボックス等(総務省令で定めるもの)	待合、料理店、その他	飲食店	物品販売業を営む店舗	旅館、ホテル、その他	寄宿舎、下宿又は共同住宅	病院、診療所又は助産所	老人福祉施設等(自力避難困難者の入所施設等)	救護施設	乳児院	障害児入所施設等	障害者支援施設	老人福祉施設等(ロ(1)以外の老人福祉施設等)	更生施設	助産施設、保育所等	児童発達支援センター等	身体障害者福祉センター等	幼稚園又は特別支援学校	小学校、中学校、高等学校、その他	図書館、博物館、美術館、その他	図書館、中学校、高等学校、その他	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場、その他	イに掲げる公衆浴場以外	車両の停車場又は船舶、航空機の発着場	神社、寺院、教会、その他	工場又は作業場	映画スタジオ又はテレビスタジオ	自動車庫又は駐車場	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	倉庫	前各項に該当しない事業場	特定用途が存する複合用途防火対象物	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	地下街	重要文化財	
4	23	11	2	1	44	189	37	112	32	56				1	9	29		29	10	29	115	4			2	1	113		9		98	121	52	8			1141			

業態別建築同意件数

(平成27年)

令別表項別		年 別						
		23年	24年	25年	26年	27年		
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	1					
	ロ	公会堂、集会場	3		2		2	
2	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類						
	ロ	遊技場、ダンスホール			1			
	ハ	風俗営業等(総務省令で定めるもの)						
	ニ	カラオケボックス等(総務省令で定めるもの)						
3	イ	待合、料理店の類	1					
	ロ	飲食店	10	6	8	5	1	
4		百貨店、マーケット、物品販売業	19	9	19	17	17	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	3	2	1	1		
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	7	2	13	3	6	
6	イ	病院、診療所、助産所	3	4	6	2	2	
	ロ	(1)	老人福祉施設等(自力避難困難者の入所施設等)					2
		(2)	救護施設					
		(3)	乳児院	6	2	8	4	
		(4)	障害児入所施設等					
		(5)	障害者支援施設					
	ハ	(1)	老人福祉施設等(ロ以外の老人福祉施設)					2
		(2)	更生施設					
		(3)	助産施設、保育所等	10	11	3	3	2
		(4)	児童発達支援センター等					
		(5)	身体障害者福祉センター等					1
ニ	幼稚園又は特別支援学校				1	1		
7		小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	2	1	3	4	2	
8		図書館、博物館、美術館	1				1	
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場						
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場						
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場						
11		神社、寺院、教会の類	4	3	6	3	3	
12	イ	工場、作業場	18	16	19	20	22	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫、駐車場	7	12	12	10	15	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫					1	
14		倉庫	26	50	60	58	35	
15		前各項に該当しない事業場	48	42	66	54	51	
16	イ	特定用途が存する複合用途防火対象物	1	4	3	5	3	
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	2		3	3	1	
16の2		地下街						
16の3		地下道						
17		重要文化財、重要民俗資料、史跡等						
		専用住宅	29	21	17	23	39	
		仮設許可申請						
		計画変更申請	13	7		3	12	
		仮使用承認申請	3					
		その他(許可通知書)	1		1	5	9	
		合 計	218	192	251	224	230	

防火対象物定期点検報告制度

(平成27年12月31日現在)

令別表項別			市町名					合 計	
			東 金 市	山 武 市	大 網 白 里 市	九 十 九 里 町	芝 山 町		
1	イ	観 覧 場	対 象 物	2				1	3
			特 例 認 定	2					2
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	対 象 物	1	3		1	1	6
			特 例 認 定		2			1	3
2	ロ	遊 技 場	対 象 物	7	4			1	12
			特 例 認 定	1	1				2
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	対 象 物	1					1
			特 例 認 定						
4		店 舗	対 象 物	17	11	9	4	2	43
			特 例 認 定	4	4	2		1	11
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	対 象 物	4	2	1	1		8
			特 例 認 定		1		1		2
6	イ	病 院 ・ 診 療 所	対 象 物	2	1	2	1	1	7
			特 例 認 定	1					1
	ロ(1)	社 会 福 祉 施 設 等 (自 力 避 難 困 難 者 の 入 所 施 設 等)	対 象 物	1					1
			特 例 認 定						
ハ(1)	社 会 福 祉 施 設 等 (ロ 以 外 の 社 会 福 祉 施 設)	対 象 物	1	2			1	4	
		特 例 認 定							
16	イ	特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物	対 象 物	6	3	1	1		11
			特 例 認 定	2	1		1		4
合 計			対 象 物	42	26	13	8	7	96
			特 例 認 定	10	9	2	2	2	25

※特例認定制度は、防火対象物点検報告が義務付けられている防火対象物で、申請により消防機関が検査を実施し、一定の要件を満たしている防火対象物については、点検・報告に係る規定を3年間適用しない制度です。

危険物許認可等事務処理状況

(平成27年)

申 請 区 分	設 置 許 可 申 請	変 更 許 可 申 請	仮 使 用 承 認 申 請	設 置 完 成 検 査 申 請	変 更 完 成 検 査 申 請	完 成 検 査 前 検 査 申 請	譲 渡 ・ 引 渡 届 出	品 名 ・ 数 量 変 更 届 出	廃 止 届 出	保 安 監 督 者 選 任 ・ 解 任 届 出	完 成 検 査 済 証 再 交 付 申 請	予 防 規 程 制 定 ・ 変 更 申 請	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱 い 申 請	資 料 提 出 (そ の 1)	資 料 提 出 (そ の 2)	資 料 提 出 (そ の 3)	休 止 ・ 再 開 届 出	許 可 証 等 再 交 付 申 請	申 請 等 取 下 げ 届 出	災 害 発 生 届 出	そ の 他	合 計
件数	10	43	22	9	42	4	13	10	16	52	5	9	1	48	8	75	7	5	4	2	1	386

危険物製造所等設置状況

(平成27年12月31日現在)

区分		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				総 計		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計	
市 町 別 対 象 数	東 金 市	13	41	27	1	28		29	23	149	35	2	22	59	221	
	山 武 市	3	26	34	3	24		43	4	134	40		21	61	198	
	大 網 白 里 市		2	8		9		4	2	25	19		5	24	49	
	九 十 九 里 町	4	8	8	1	6		3	2	28	7		3	10	42	
	芝 山 町	1	10	7		16		2	1	36	23		7	30	67	
累 年 状 況 数	平成27年	21	87	84	5	83		81	32	372	124	2	58	184	577	
	平成26年	21	87	87	5	85		68	30	362	124	2	60	186	569	
	平成25年	21	89	91	6	85		68	31	370	123	2	60	185	576	
類 別 数	単	第1類	1							1					1	
		第2類														
		第3類														
	独	第4類	12	79	84	5	83		81	32	364	124	2	57	183	559
		第5類		2							2					2
		第6類														
混 在	9	5							5			1	1	15		

※ 完成検査済施設数にて記入

指 令

通信指令システム機器一覧

(平成28年4月1日現在)

指令課情報管理室

	機器項目	構成機器	数量
指令センター関係	情報共有端末装置	本体・ディスプレイ等	1式
	情報共有表示装置	65型ディスプレイ	1台
	車両運用表示盤	65型ディスプレイ	1台
	119ヘルプ機能用電話機		1台
	無停電電源装置		1台
	消防0Aシステム	情報連携装置	1台
	災害状況等自動案内装置	NTTテレトーキ (10回線)	1台
	可搬型端末装置 (指揮隊用)		4台
	ネットワーク設備	アクセスルータ等	2台
	ウェザーニュース気象観測装置	観測装置	1式
消防本部	現場画像伝送装置 (受信用設備)	FOMA回線	1式
	自動気象観測装置	気象情報表示盤・観測装置	1式
	署所監視用装置 (モニター用パソコン)	署所監視用カメラネットワーク中継	1台
	情報収集用TV	32インチTV	1台
	119迂回用電話機		2台
	衛星携帯電話		1台
県	千葉県防災行政無線システム	一斉受令端末装置・テレビ会議装置等	1式
	千葉県防災情報システム	防災情報システムパソコン・回転灯等	1式
市町関係	東金市防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	山武市防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	大網白里市防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	九十九里町防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	芝山町防災行政無線	遠隔制御装置	1台

消防署・分署・出張所

	機器項目	構成機器	数量
指令センター関係	署所端末装置		7台
	無線指令受付装置		7台
	駆けつけ通報装置	駆けつけ通報電話機・監視カメラ	6式
	指令情報出力装置	本体・ディスプレイ等	7式
	無停電電源装置		7台
	署所用非常用発動発電機		4台
	車両運用表示盤	15車両用1台・8車両用6台	7台
	避雷装置	高速電源避雷器7台 (高速回線避雷器1台)	7台

各車両

	機器項目	構成機器	数量
車両	車両運用端末装置 (Ⅲ型)	ナビ・GPS付AVM装置	32台
	車両運用端末装置 (Ⅱ型)	GPS付AVM装置	6台

消防救急無線施設の状況

(平成28年4月1日現在)

<消防救急デジタル無線システムの概要>

ちば消防共同指令センター 無線統制局 (千葉市消防局内)	無線回線制御装置	指令センターに配備され、各基地局の監視制御、基地局無線回線の制御、指令センター設備と無線通信回線の接続制御を行うための装置
	無線統制卓	無線統制を行うため、指令系装置及び遠隔制御器より上位に位置し、通信統制に係る処理が優先される
基地局名		
共通波基地局	東金市・大網白里市・九十九里町	長生合同庁舎
	山武市・芝山町	海匠土木事務所
活動波基地局	東金市・大網白里市・九十九里町	山武土木事務所
	山武市・芝山町	芝山分署
消防本部指令課情報管理室	遠隔制御器	管轄エリア内の消防救急車両等と無線通信を行うための装置

<消防救急アナログ無線システムの概要>

アナログ基地局	既存基地局の全国共通波3波及び県内共通波無線装置を維持し、各移動局との無線通信を行う ※消防救急アナログ無線の使用は平成28年5月31日までに限る。
---------	--

<所属別の無線通信設備等の状況>

区分	所属別								計
	消防本部	中央消防署	九十九里分署	東消防署	山武分署	芝山分署	南消防署	白里出張所	
卓上型固定移動局無線装置 (D/A)									
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	1								1
卓上型固定移動局無線装置 (A)									
実装～⑫⑬⑭⑮	1								1
車載型移動局無線装置 (D/A)									
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	4	9	3	4	4	4	4	3	35
車載型移動局無線装置 (D)									
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪		1	1	1					3
可搬型移動局無線装置 (D/A)									
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	1	1	1	2	1	1	2	1	10
携帯型移動局無線装置 (D)									
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	4	10	4	5	4	4	4	3	38
携帯型移動局無線装置 (A)									
実装～⑫⑬⑭	6	15	5	7	5	5	6	4	53
車載型受令機 (D)									
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	4								4
署活動用トランシーバー	8	28	13	17	9	9	13	4	101

特記事項～ (D/A) はデジタル及びアナログ併用、(D) はデジタル、(A) アナログ

消防救急デジタル無線 (260MHz帯)

- ① 共通波 (統制波) 3波
- ② 共通波 (主運用波) 1波 (千葉県)
- ③ 共通波 (主運用波) 7波
- ④ 活動波 (山武郡市広域行政組合消防本部) 3波
- ⑤ 活動波 (千葉市消防局) 9波～隣接応援時
- ⑥ 活動波 (成田市消防本部) 4波～隣接応援時
- ⑦ 活動波 (富里市消防本部) 2波～隣接応援時
- ⑧ 活動波 (長生郡市広域市町村圏組合消防本部) 3波～隣接応援時
- ⑨ 活動波 (匝瑳市横芝光町消防組合消防本部) 2波～隣接応援時
- ⑩ 活動波 (香取広域市町村圏事務組合消防本部) 3波～隣接応援時
- ⑪ 活動波 (佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部) 4波～隣接応援時

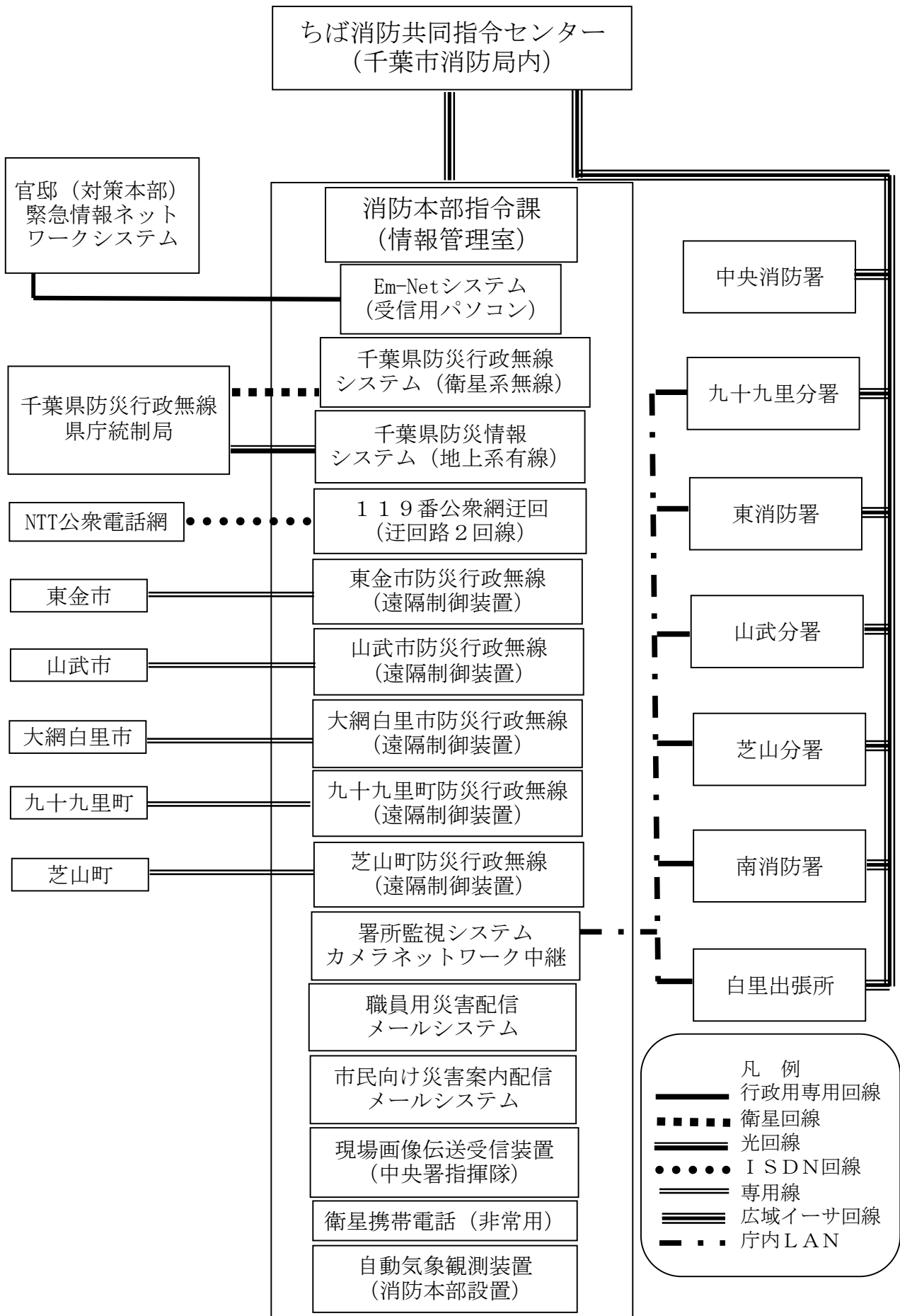
消防救急アナログ無線 (150MHz帯)

- ⑫ 市町村波1波
- ⑬ 県内共通波1波
- ⑭ 全国共通波3波
- ⑮ 防災相互波1波

※消防救急アナログ無線の⑫⑬⑭の使用は平成28年5月31日までに限る。

通信系統図（消防救急無線系を除く）

（平成28年4月1日現在）



無線従事者選任状況

(平成28年4月1日)

区分	所 属	消 防 本 部	中 央 消 防 署	九 十 九 里 分 署	東 消 防 署	芝 山 分 署	山 武 分 署	南 消 防 署	白 里 出 張 所	合 計
選 任 者		41	61	20	30	17	18	34	11	232

119番着信状況

(平成27年)

項目 月別	災 害					問 合 せ	間 違 え	試 験	そ の 他	計
	火 災	救 急	救 助	そ の 他	続 報					
1月	15	810	10	95	47	210	46	19	68	1,320
2月	20	601	5	88	55	102	41	16	56	984
3月	9	651	5	93	31	140	34	48	55	1,066
4月	2	656	4	66	36	164	37	20	63	1,048
5月	17	754	11	85	40	193	24	17	70	1,211
6月	7	664	9	61	34	173	30	22	99	1,099
7月	15	731	11	69	37	183	50	9	105	1,210
8月	16	770	5	59	42	190	38	18	83	1,221
9月	9	751	7	67	29	165	35	31	96	1,190
10月	5	720	6	51	29	135	29	39	100	1,114
11月	6	670	10	90	32	139	30	38	87	1,102
12月	5	724	4	87	31	162	33	35	85	1,166
計	126	8,502	87	911	443	1,956	427	312	967	13,731

※ちば消防共同指令センター統計参照

気象情報受理状況

千葉県北東部調べ
(平成27年)

種別 月別	警 報								注 意 報																	
	大 雨	洪 水	大 雪	暴 風	暴 風 雨	波 浪	高 潮	暴 風 雪	計	大 雨	洪 水	大 雪	強 風	風 雪	波 浪	高 潮	濃 霧	雷 電	乾 燥	な だ れ	着 氷	着 雪	融 雪	霜	低 温	計
1月				1		2			3	2	2		28		45			5	33							115
2月									0				28	2	50			5	4	21						110
3月									0	2	2		33		46		20	17	42					8	170	
4月									0	1	1		35		45		13	11						9	115	
5月				3					3	4	4		15		37		22	14	12						108	
6月									0	10	10		11		28		28	25							112	
7月	5	2				4			11	20	17		10		51		37	48							183	
8月	3	3				4			10	16	16		7		58		37	65							199	
9月	13	4							17	23	23		11		71		16	44							188	
10月	1	1		2		7			11	3	3		19		42		2	11	18						98	
11月									0	2	2		23		49		8	11	2						97	
12月				2		5			7	3	3		12		31		2	11	19						81	
計	22	10	0	8	0	22	0	0	62	86	83	0	232	2	553	0	190	266	147	0	0	0	0	17	0	1576

気象状況

観測 中央消防署
(平成27年)

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
気温 ℃	最高	16.7	21.4	21.4	25.0	29.0	26.9	34.4	33.9	29.9	26.7	23.7	23.7
	最低	-1.2	-2.3	-0.3	1.4	10.0	13.9	18.5	19.5	15.9	7.9	3.8	0.6
	平均	5.5	5.3	9.5	13.7	19.5	20.9	25.1	25.7	22.2	17.9	13.9	8.8
湿度 %	最高	97.8	97.5	97.7	98.0	96.0	97.2	97.9	97.7	97.9	98.0	97.8	97.6
	最低	39.9	39.6	47.1	66.1	56.0	60.3	72.4	82.3	67.1	54.9	64.3	60.1
	平均	67.4	74.8	76.9	86.1	81.9	88.8	89.7	91.0	89.8	81.6	88.2	79.5
最多風向	NNW	NNW	NE	NE	SSW	SSE	SSE	SSW	NE	NE	N	N	
天候 日数	晴	19	19	15	11	19	14	18	15	14	20	11	16
	曇	3	3	5	5	5	7	1	11	3	6	8	10
	雨	9	6	11	14	7	9	12	5	13	5	11	5
	雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雨量mm	91.5	62.5	91.0	112.5	55.5	99.5	178.0	60.0	231.0	57.5	114.0	46.5	

緊急通報取扱状況

(平成27年)

月別	覚知別	報 知 電 話	加 入 電 話	携 帯 電 話	警 察 電 話	そ の 他	計
	災害別						
1月	火 災	5		12			17
	救 急	592	12	307	19	12	942
	その他	6		5		11	22
2月	火 災	9	1	12	4		26
	救 急	453	4	234	23	5	719
	その他	7		3		8	18
3月	火 災	4		6	2		12
	救 急	467	8	256	21	10	762
	その他	2		7		9	18
4月	火 災	3		1	2		6
	救 急	471	14	236	29	18	768
	その他	5	1	4	1	6	17
5月	火 災	7		6		1	14
	救 急	484	12	284	25	18	823
	その他	7	2	5	4	7	25
6月	火 災	6		4			10
	救 急	434	14	276	11	12	747
	その他	6		8	2	3	19
7月	火 災	6		7	1		14
	救 急	489	6	302	17	12	826
	その他	17	3	3	4	7	34
8月	火 災	11		5	1		17
	救 急	498	12	325	21	13	869
	その他	5		4	2	10	21
9月	火 災	3		7	1		11
	救 急	500	12	294	26	12	844
	その他	8	1	5	3	4	21
10月	火 災	4	1	2	1	1	9
	救 急	479	5	284	20	8	796
	その他	3		10	1	1	15
11月	火 災	3		1	1		5
	救 急	452	12	260	27	17	768
	その他	12	1	11		8	32
12月	火 災	6		4	3	1	14
	救 急	479	8	309	27	6	829
	その他	5	1	12	3	7	28
計	火 災	67	2	67	16	3	155
	救 急	5,798	119	3,367	266	143	9,693
	その他	83	9	77	20	81	270

警 防

消防自動車等の配置状況

(平成28年4月1日現在)

所属	車両名称	車両番号	車種	年式	出力(cc)	緊急消防援助隊登録	千葉県消防広域応援隊登録
消防本部	指令車	千33 て1030	トヨタ	平成3年	2,490		
	連絡車	千500も6855	三菱	平成13年	1,460		
	連絡車	千54 ち7978	トヨタ	平成6年	1,330		
	連絡車	千500ふ3019	トヨタ	平成12年	1,490		
	連絡車	千562に・・55	ニッサン	平成27年	1,990		
	マイクロバス	千22 さ8995	トヨタ	平成9年	4,160		
	予防査察車	千800す4360	ニッサン	平成14年	1,990	○	●
	広報車	千501な5162	ニッサン	平成15年	1,990		
	調査車	千800さ8060	マツダ	平成12年	1,990		
	指揮統制車	千800さ2586	トヨタ	平成11年	2,980		●
高規格救急車	千830さ8752	トヨタ	平成18年	2,690			
中央消防署	指揮車	千800さ4461	トヨタ	平成11年	1,990		
	消防ポンプ自動車	千830す1191	日野	平成27年	4,000		
	化学消防自動車	千830せ1192	日野	平成27年	6,400	○	●
	水槽付き消防ポンプ自動車	千800す2251	イスズ	平成13年	8,220		
	救助工作車	千830さ3690	日野	平成28年	8,860	○	●
	支援車	千830さ3640	日野	平成25年	6,400	○	●
	梯子車	千88 に5601	日野	平成5年	17,230		
	高規格救急車	千830せ2500	トヨタ	平成24年	2,690		
	高規格救急車	千830す2501	トヨタ	平成26年	2,690	○	●
連絡車	千葉502み5327	ニッサン	平成25年	1,990			
九十九里分署	消防ポンプ自動車	千葉830た9901	日野	平成28年	4,000	○	●
	水槽付き消防ポンプ自動車	千831ほ・119	イスズ	平成20年	5,190		
	高規格救急車	千830さ4550	トヨタ	平成18年	2,690		
	指揮支援車	千88 せ2861	トヨタ	平成8年	1,990		
東消防署	指揮車	成800さ1460	トヨタ	平成26年	2,690		●
	消防ポンプ自動車	成830さ3611	日野	平成28年	4,000	○	●
	水槽付き消防ポンプ自動車	千800す9748	イスズ	平成16年	7,160		
	救助工作車	千88 に6278	イスズ	平成9年	8,220		●
	高規格救急車	成830す3119	トヨタ	平成26年	2,690		
連絡車	成田500そ8382	ニッサン	平成25年	1,990			
芝山分署	水槽付き消防ポンプ自動車	千800さ5927	イスズ	平成12年	8,220		
	化学車	成830そ・119	イスズ	平成20年	5,190	○	●
	高規格救急車	成830さ1412	トヨタ	平成21年	2,690		●
	指揮支援車	千88 せ1453	トヨタ	平成7年	1,990		
山武分署	水槽付き消防ポンプ自動車	千800さ9801	イスズ	平成13年	8,220		
	水槽付き消防ポンプ自動車	千800は1417	イスズ	平成18年	7,160		
	高規格救急車	千830た 911	トヨタ	平成17年	3,370		
	指揮支援車	千88 せ5734	トヨタ	平成9年	1,990		
南消防署	指揮車	千88 せ1452	トヨタ	平成7年	1,990		
	消防ポンプ自動車	千830す3208	日野	平成26年	4,000		
	水槽付き消防ポンプ自動車	千800す5604	イスズ	平成15年	8,220	○	●
	高規格救急車	千830さ3208	トヨタ	平成25年	2,690		
	連絡車	千葉502み5326	ニッサン	平成25年	1,990		
白里出張所	消防ポンプ自動車	千830さ2030	イスズ	平成23年	2,990		●
	救急車	千800す9760	トヨタ	平成16年	3,370		
	連絡車	千80 あ・551	三菱	平成6年	650		

消防機材配置状況

(平成28年4月1日現在)

区分	機材名	所属						計	区分	機材名	所属						計		
		中央消防署	九十九里分署	東消防署	芝山分署	山武分署	南消防署				白里出張所	中央消防署	九十九里分署	東消防署	芝山分署	山武分署		南消防署	白里出張所
一般救助器具	三連梯子	5	2	3	2	2	2	1	17	呼吸器	酸素呼吸器	5		1					6
	かぎ付梯子	5	2	3	2	2	1		15	酸素ボンベv1.5(200ℓ)	16		6					22	
	金属製折りたたみ梯子			1					1	" v2.0 (300ℓ)	32	3	17	3	4	3	2	64	
	ワイヤー梯子	1		1					2	" v3.4 (500ℓ)			12					12	
	救命索発射銃	1		1			1		3	" v6.9 (1000ℓ)			2					2	
	縛帯	3		3	3	2	4		15	" v10.3 (1500ℓ)	30	2	25	3	3	2	2	67	
	サバイバースリング	2		2			1		5	簡易呼吸器	10		6					16	
	平担架	2		1			1		4	防塵マスク	5		5					10	
	バスケット担架	1		1	1	1	1		5	送排風器	2		1					3	
	滑車	14		13	9	7	7		50	陽圧送風機	2		1					3	
緩降機	1		1			1		3	エアライン	1		1					2		
ソフトランディング	1		1			1		3	赤外線熱画像カメラ	2		2			1		5		
航空機災害用担架			50	90				140	簡易画像探索器	1		1					2		
油圧救助器具			1					1	信号付投光器	2	1	2					5		
マット型空気ジャッキ	5		6	3	3	5		22	画像探索機	1		1					2		
マンホール救助器具	2		1			1		4	地中音響探知機	1							1		
可搬式ウインチ	2	1	2	1	1	2		9	熱画像直視装置	1							1		
チェーンブロック	1		1					2	夜間用暗視装置	1							1		
スリングワイヤー	15	3	14	7	9	16	3	67	地震警報器	1							1		
エンジンカッター	4	4	4	3	3	3	1	22	電磁波探査装置	1							1		
チェーンソー	4	2	3	2	3	1	1	16	二酸化炭素探査装置	1							1		
コンクリート・鉄筋切断用チェーン	1							1	除染器具	1							1		
アセチレンガス溶断器	1		1					2	大型除染シャワーテント	1							1		
油圧カッター	1		1			1		3	除染シャワー	2							2		
エアークッター	1		1			1		3	除染剤散布器	3							3		
鉄線カッター	4	2	4	2	2	2	1	17	除染(オゾン)装置	1							1		
エアソー	1		1	1	1	1		5	ウェットスーツ	9	2	4			4	2	21		
アーケエアー			1					1	水難用ヘルメット	11		4			4		19		
レシプロソー	1		1					2	水難用手袋	10	2	4			4		20		
エンジンポンプ	1	1	1	1	1	1		6	水難用ブーツ	16	2	4			4		26		
ハンドポンプ	1		1					2	レスキューボード	1	1						2		
電動ポンプ			1					1	救助用胴付き長靴	5							5		
スプレッター	3		1			1		5	レスキューチューブ	3	2	3			2	1	11		
コンビネーションツール	2	1	1	1	1			6	救命胴衣	23	12	17	7	3	10	3	75		
ラムシリンダー	1		1			1		3	拡張ボート	2		2			2		6		
削岩機	1		2					3	救命浮環	5	3	6	3	2	3	1	23		
万能斧	11	5	6	2	2	3	1	30	スバリ	4	3	2	2	2	4		17		
携帯用コンクリート破壊器具	1		1					2	水中眼鏡	9	2	4			3	2	20		
大ハンマー	7	2	2	1	1	2	1	16	コード付水中ライト	1							1		
電気ハンマードリル	1		1					2	浮きロープ	1	3	2	1	1	2	1	11		
高圧活線警報器	1							1	フローティング担架	1							1		
防毒マスク	5		5					10	水中無線機	6							6		
放射線防護服	4		2					6	水面救助用ドライスーツ	5							5		
陽圧式化学防護服	9							9	ドライスーツ	5							5		
化学防護服	2							2	水中投光器	5							5		
耐熱服	6			2				8	車両移動器具	1							1		
耐電衣・上下	11	3	8	2		5		29	移動体衛星通信携帯電話	1							1		
耐電手袋	12	5	9	2	2	11	1	42	風向風速計	1		1					2		
耐電長靴	11	5	8	2	2	5	1	34	コンクリート探知機	1							1		
安全帯	14	2	9	4	5	3		37	放射温度計	1							1		
蛍光チョッキ	49	12	13	11	8	6	4	103	合成界面活性剤泡消火薬剤	48	5	2	66	4	1	3	129		
防塵メガネ	5		6					11	水成膜泡消火薬剤	36		4	10	2	3		55		
携帯警報器	13	3	12			8		36	船外機	1							1		
検電器	3		2			1		6	エコファイターノズル	2	2	2			2		8		
可燃性ガス測定器	5	2	3	2	2	2	1	17	ガンタイプノズル	6	3	2			2		13		
有毒ガス測定器	2		1			1		4	ミラクルフォーム	31	4	3			29		67		
携帯型化学検知器	1							1	圧縮空気泡発生装置(CAFS)	1	1	1			1		4		
生物剤検知器	1							1	発電式投光器一式	4	1	3	2	2	4	1	17		
放射線測定器	7		2			1		10	エアーテント	4							4		
個人線量計	18	1	8	1	1	4	1	34	ジェットシューター	16	7	6	8	9	7	4	57		
空気呼吸器	30	10	20	8	9	12	4	93	ウォーターチャージャー	1	2	2	1	1	1		8		
空気ボンベv8.0(15Mp)	38		14	7	6	17	1	83	エアーフォームノズル	3	1	2	3	2	1	1	13		
" v8.4(15Mp)軽量			1		1	3	3	8	簡易発泡器		1	1	1	1	1		5		
" v4.7(30Mp)軽量	8		4			5		17	中発泡器	1							1		
" v6.8(30Mp)軽量	47	24	33	19	6	14	8	151	ラインプロポーションナー	4	1	2	2	2	1	1	13		
" v9.0(30Mp)軽量	12							12	携帯用ハンドマイク	9	4	6	3	4	3	1	30		
" v10.0(15Mp)			5			2		7	フオグガン	2	4	3	4	3	2	2	20		
" v10.0(15Mp)			5			2		7											

消 防 団 員 数

(平成28年4月1日現在)

市町名 階 級		東 金 市	山 武 市	大網白里市	九十九里町	芝 山 町	計
		団 長	1	1	1	1	
副 団 長	10	8	5	5	4	32	
分 団 長	7	26	4	14	22	73	
副 分 団 長	14	13	4	8	7	46	
部 長	16	48	12	19	19	114	
班 長	30	96	27	133	57	343	
団 員	440	635	400	172	185	1,832	
計	518	827	453	352	295	2,445	

消 防 団 車 両 数

(平成28年4月1日現在)

市町名 車 種		東 金 市	山 武 市	大網白里市	九十九里町	芝 山 町	計
		指 揮 車	1	4	1	1	
水 槽 付 ポンプ車	13	11	13	8	6	51	
普 通 ポンプ車		5		7	1	13	
積 載 ポンプ車	17	31	14	4	13	79	
電 源 照 明 車			1			1	
水 槽 車	1				1	2	
資 材 車	1	1		1		3	
広 報 車		1	1		1	3	
消防緊急自動二輪	3	3				6	
計	36	57	29	21	23	166	

管 内 消 防 水 利 一 覧 表

(平成28年4月1日現在)

市町名 種 別		東 金 市	山 武 市	大網白里市	九十九里町	芝 山 町	計
		消 火 栓	752	914	756	212	
貯 水 槽	40 m ³ 以上	141	371	211	37	253	1,013
	40 m ³ 未 満	349	481	7	56	51	944
貯 水 池		11	14		1	26	
河 川	4	12	46		2	64	
プ ー ル	10	18	10	4	2	44	
消 火 井 戸	74	8		337	2	421	
計	1,330	1,815	1,044	646	375	5,210	

消防機関の出動状況

(平成27年)

区分	種別	計	火 災	風水害等 の 災 害	演 習 ・ 訓 練 等	救 急	救助活動	広 報 ・ 指 導
消 防 本 部	出 動 回 数	363						11
	出 動 延 人 員	788	6		6			24
中 央 署 管 内	出 動 回 数	5,826	48	1	8	4,441	86	137
	出 動 延 人 員	20,134	516	4	67	13,326	588	696
東 署 管 内	出 動 回 数	4,120	42	5	13	2,883	47	179
	出 動 延 人 員	14,927	449	20	78	8,643	470	965
南 署 管 内	出 動 回 数	3,689	33	3	4	2,850	30	85
	出 動 延 人 員	12,112	292	10	12	8,547	233	408
合 計	出 動 回 数	13,998	123	9	25	10,174	163	412
	出 動 延 人 員	47,961	1,263	34	163	30,516	1,291	2,093

区分	種別	警防調査	火災調査	特別警戒	捜索	予防査察	誤報	その他
消 防 本 部	出 動 回 数		51			300		1
	出 動 延 人 員		119			629		4
中 央 署 管 内	出 動 回 数	59	34	47		259	91	615
	出 動 延 人 員	252	146	256		1,179	766	2,338
東 署 管 内	出 動 回 数	82	17	3		261	38	550
	出 動 延 人 員	400	75	16		1,324	253	2,234
南 署 管 内	出 動 回 数	67	19			156	31	411
	出 動 延 人 員	195	90			604	165	1,556
合 計	出 動 回 数	208	121	50	0	976	160	1,577
	出 動 延 人 員	847	430	272	0	3,736	1,184	6,132

救急活動状況と過去5年間の比較

(平成27年)

区分	年別		23	24	25	26	27
	事故種別						
出場 件数	計		9,138	9,465	9,867	10,133	10,174
	火災	災害	115	98	98	66	69
	自然	災害	12		8	4	
	水難		21	28	41	17	25
	交通	事故	1,113	1,169	1,062	1,003	1,020
	労働	災害	112	101	95	107	105
	運動	競技	49	65	56	62	63
	一般	負傷	1,138	1,157	1,317	1,349	1,326
	加害		66	60	73	80	54
	自損	行為	162	124	145	132	98
	急病		5,615	5,831	6,185	6,287	6,395
	その他		735	832	787	1,026	1,019
(上記のうち不搬送)		1,158	1,227	1,455	1,540	1,766	
搬送 人員	計		8,138	8,403	8,574	8,727	8,541
	火災	災害	10	18	12	15	15
	自然	災害	9		1	1	
	水難		7	11	6	5	12
	交通	事故	1,089	1,138	1,060	949	952
	労働	災害	108	101	93	104	99
	運動	競技	49	58	53	62	59
	一般	負傷	1,022	1,048	1,142	1,190	1,120
	加害		48	45	52	55	39
	自損	行為	106	77	98	85	54
	急病		4,968	5,089	5,316	5,358	5,292
	その他		722	818	741	903	899
一日平均	出場件数		25.0	25.9	27.0	27.8	27.9
	搬送人員		22.3	23.0	23.5	23.9	23.4
月平均	出場件数		761.5	788.8	822.3	844.4	847.8
	搬送人員		678.2	700.3	714.5	727.3	711.8

救急講習会実施状況

(平成27年)

年別	種別	普通救命講習		上級救命講習		その他の講習	
		実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
平成7年～平成24年		885	18,830	46	961	561	20,544
平成25年		86	1,368	7	195	51	2,910
平成26年		80	1,572	5	173	57	2,361
平成27年		84	1,297	6	194	52	2,070
合計		1,135	23,067	64	1,523	721	27,885

救急隊別出場状況

(平成27年)

事故種別 救急隊別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
中央消防署 第1救急隊	18		2	185	13	19	203	8	16	951	189	1,604
第2救急隊	8		3	167	12	12	183	13	17	879	151	1,445
九十九里分署	9		14	130	13	3	193	8	13	860	152	1,395
東消防署	16		1	147	21	7	183	7	12	847	118	1,359
芝山分署	1			77	14	3	76	1	7	359	54	592
山武分署	5			80	7	7	119	4	11	653	44	930
南消防署	11		1	165	15	7	236	8	15	1,192	253	1,903
白里出張所	1		4	69	10	5	133	5	7	654	58	946
計	69	0	25	1,020	105	63	1,326	54	98	6,395	1,019	10,174

市町別救急発生状況

(平成27年)

事故種別 市町別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
東金市	24 3		2	333 43	40	29	418 1	21	37	2,004 5	414 7	3,322 59
山武市	17 1		6	235 40	36	18	361 2	11	27	1,709 5	188	2,608 48
大網白里市	11 2		4 1	180 16	10	11	315 1	11	18	1,623 24	224 2	2,407 46
九十九里町	7		10 2	96 14	7	3	168	9 1	11	727 6	132	1,170 24
芝山町	4			51 5	11 1	1	56	1	5	253 2	50	432 8
管外				7			4			37	2	50 0
計	63 6	0 0	22 3	902 118	104 1	62 1	1,322 4	53 1	98 0	6,353 42	1,010 9	9,989 185

※ 下段は、応援出動のため計上せず

月別救急出場状況

(平成27年)

月別	事故種別		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
	件数(人)		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の
1	出動件数	986	8			71	9	1	102	4	9	683	99
	救急件数	796				55	8	1	88	2	5	548	89
	搬送人員	803				61	8	1	88	2	5	548	90
2	出動件数	750	12			73	3	4	93	6	6	485	68
	救急件数	614	1			67	3	3	77	4	3	397	59
	搬送人員	621	1			73	3	3	77	4	3	398	59
3	出動件数	798				97	11	3	101	7	8	494	77
	救急件数	649				74	8	3	83	4	5	404	68
	搬送人員	656				80	8	3	83	4	5	405	68
4	出動件数	799	5		2	113	7	7	108	4	7	470	76
	救急件数	679	2			98	6	6	92	2	1	404	68
	搬送人員	696	3			114	6	6	92	2	1	404	68
5	出動件数	904	4		3	88	5	11	108	4	10	571	100
	救急件数	756	2		1	69	5	11	93	4	5	483	83
	搬送人員	770	2		1	82	5	12	93	4	5	483	83
6	出動件数	779	7		3	83	13	5	94	3	6	486	79
	救急件数	644	1		2	68	12	4	82	2	4	398	71
	搬送人員	659	1		3	81	12	4	83	2	4	398	71
7	出動件数	872	7		3	76	11	5	117	6	7	551	89
	救急件数	728	2		1	60	11	5	97	4	5	464	79
	搬送人員	741	2		1	66	11	5	97	4	5	471	79
8	出動件数	906	12		8	70	10	10	137	3	10	572	74
	救急件数	763	1		6	59	10	10	124	2	6	479	66
	搬送人員	778	1		6	74	10	10	124	2	6	479	66
9	出動件数	890	4		4	90	13	5	131	3	15	540	85
	救急件数	753	1			75	12	5	110	3	8	464	75
	搬送人員	765	1			85	12	5	110	4	8	464	76
10	出動件数	819	2			79	6	6	107	4	7	506	102
	救急件数	672				71	6	6	88	3	5	401	92
	搬送人員	675				74	6	6	88	3	5	401	92
11	出動件数	807	5		2	97	5	5	109	5	7	499	73
	救急件数	647	2		1	79	5	3	89	4	2	400	62
	搬送人員	662	2		1	92	5	3	89	5	2	401	62
12	出動件数	864	3			83	12	1	119	5	6	538	97
	救急件数	707	2			63	12	1	96	3	5	440	85
	搬送人員	715	2			70	13	1	96	3	5	440	85
合計	出動件数	10,174	69	0	25	1,020	105	63	1,326	54	98	6,395	1,019
	救急件数	8,408	14	0	11	838	98	58	1,119	37	54	5,282	897
	搬送人員	8,541	15	0	12	952	99	59	1,120	39	54	5,292	899
搬送者程度	死亡	150			2	4	1		7		9	127	
	重症	878	2		3	41	8	1	66	1	8	544	204
	中等症	3,992	7		4	189	35	19	423	4	24	2,678	609
	軽症	3,521	6		3	718	55	39	624	34	13	1,943	86
	その他	0											
計	8,541	15	0	12	952	99	59	1,120	39	54	5,292	899	

曜日別救急出場状況

(平成27年)

事故種別 区分		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
曜日別	月	17		3	129	19	8	183	9	7	955	179	1,509
	火	6		2	154	27	5	173	11	12	891	165	1,446
	水	9		2	163	14	6	187	3	19	890	152	1,445
	木	3		3	150	13	5	176	10	14	885	159	1,418
	金	9		5	153	16	7	167	4	15	866	181	1,423
	土	11		4	138	7	13	201	9	16	913	106	1,418
	日	14		6	133	9	19	239	8	15	995	77	1,515
	計	69	0	25	1,020	105	63	1,326	54	98	6,395	1,019	10,174

管内管外搬送人員

(平成27年)

事故種別 区分		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
管内に住所を有する者		15		1	701	50	34	960	30	47	4,849	722	7,409
管外に住所を有する者				11	251	49	25	159	9	7	441	177	1,129
その他								1			2		3
計		15	0	12	952	99	59	1,120	39	54	5,292	899	8,541

事故種別年齢区分別搬送人員

(平成27年)

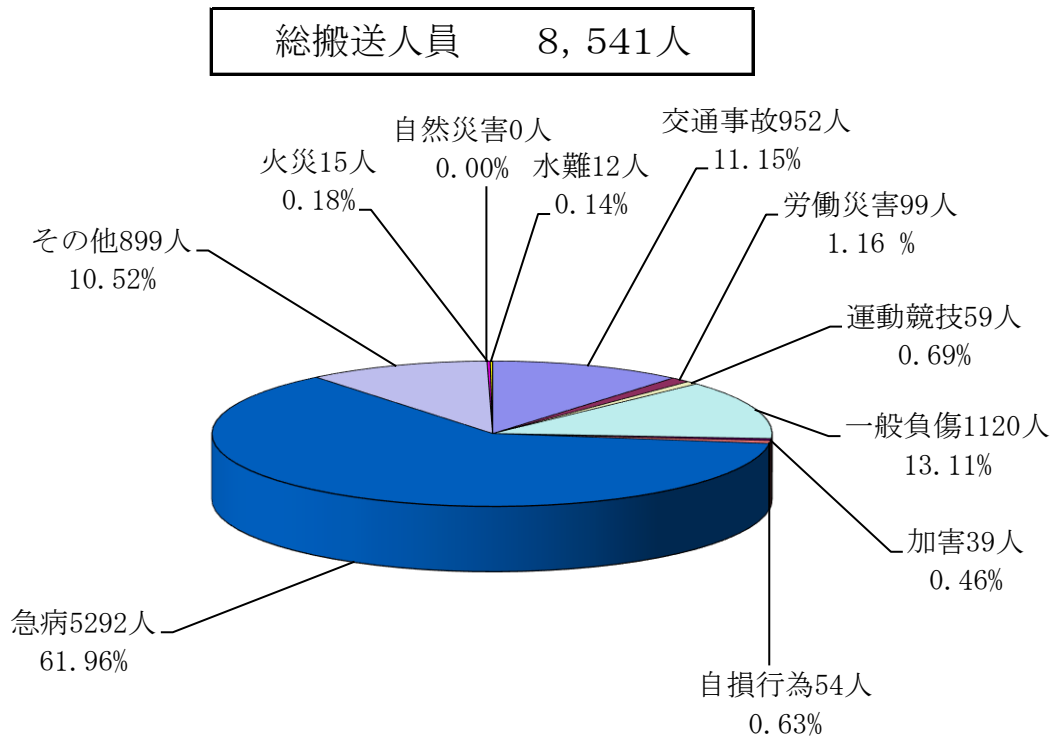
事故種別 年齢区分		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
新生児											3	4	7
乳幼児					20			96			231	19	366
少年				1	97		39	48	4	1	144	9	343
成人		7		10	616	82	17	287	26	44	1,710	234	3,033
老人		8		1	219	17	3	689	9	9	3,204	633	4,792
計		15	0	12	952	99	59	1,120	39	54	5,292	899	8,541

事故種別傷病程度別搬送人員

(平成27年)

事故種別 \ 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡			2	4	1		7		9	127		150
重症	2		3	41	8	1	66	1	8	544	204	878
中等症	7		4	189	35	19	423	4	24	2,678	609	3,992
軽症	6		3	718	55	39	624	34	13	1,943	86	3,521
その他												0
計	15	0	12	952	99	59	1,120	39	54	5,292	899	8,541

事故種別搬送人員



時間別救急出場状況

(平成27年)

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	計		69	0	25	1,020	105	63	1,326	54	98	6,395	1,019
時間別内訳	0～2	6			27			38	5	5	374	23	478
	2～4	3			14			27	3	2	312	11	372
	4～6	4			24	1		31	1	5	375	14	455
	6～8	4		2	103	3		94	1	5	504	15	731
	8～10	5		4	147	23	5	176	5	8	738	154	1,265
	10～12	15		4	94	18	18	161	4	16	620	188	1,138
	12～14	7		5	113	15	13	158	4	14	578	230	1,137
	14～16	7		3	96	18	11	150	4	8	581	158	1,036
	16～18	6		5	160	17	13	156	1	7	551	106	1,022
	18～20	3		1	119	7	1	134	7	12	712	54	1,050
	20～22	5			75	1	2	135	10	7	543	38	816
	22～24	4		1	48	2		66	9	9	507	28	674

事故種別応急処置状況

(平成27年)

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	5,287	949	1,116	1,177	8,529
止血	35	34	103	24	196
固定	31	420	131	49	631
人工呼吸	26	2	3	1	32
心マッサージ	11		2		13
心肺蘇生	186	5	12	16	219
酸素吸入	1,261	95	68	342	1,766
気道確保	276	12	18	21	327
うち経鼻エアウェイ	6	1	1	1	9
喉頭鏡・鉗子等による異物除去			3		3
※ラリゲアルマスク等	51		5	3	59
※気管挿管	2		1		3
保温	666	72	89	118	945
被覆	20	167	302	78	567
在宅療法継続	2				2
ショックパンツによる血圧保				1	1
※除細動	24	1	3		28
※静脈路確保	165	7	9	16	197
※薬剤投与	55	3	4		62
その他の応急処置	5,078	901	1,079	1,139	8,197
血圧測定	4,952	931	1,047	1,143	8,073
聴診器による心音・呼吸音等	937	210	124	92	1,363
血中酸素飽和度の測定	5,110	941	1,088	1,158	8,297
心電図	3,210	140	210	590	4,150

※は救急救命士が行う特定行為

市町別ドクターヘリ出動件数一覧表

(平成25年～平成27年)

事故種別 市町別		救急事故種別													合計	
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資等器輸材送		その他
平成25年中	東金市				10	2		3			30	4				49
	山武市	1		2	14	3		10		3	37	1				71
	大網白里市				5	3	1	7			10	1				27
	九十九里町				2	2		4		2	5	2				17
	芝山町				2			2			1					5
	管外															0
	計	1	0	2	33	10	1	26	0	5	83	8	0	0	0	169
平成26年中	東金市				4	7		6		2	16	2				37
	山武市	1			11	3		5			27	1				48
	大網白里市				3	2		6			7					18
	九十九里町			1	3	2		2			3	1				12
	芝山町				2						5					7
	管外										1					1
	計	1	0	1	23	14	0	19	0	2	59	4	0	0	0	123
平成27年中	東金市				13	1		1		8	1					24
	山武市	1		1	2	1		3	3	16		1				28
	大網白里市					5	1		3		7					16
	九十九里町			1	2						7					10
	芝山町				3	2		3			5					13
	管外							2			1					3
	計	1	0	2	20	9	1	9	6	24	21	1	0	0	0	94

※ 北総ドクターヘリ運用開始(平成13年10月)

※ 君津ドクターヘリ運用開始(平成21年1月)

※ 北総ラピッドカー運用開始(平成22年6月)

※ 実働件数(ラピッドカー含む)とし、1機体出動につき1件を、往復搬送は1件で計上

年別救助活動状況

(平成25年～平成27年)

事故種別		火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	事 故	機 械 に よ る 事 故	事 建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外											
年 別														
25	出動件数	3		69	20	8	3	36	1				18	158
	活動件数	3		24	6	5	1	12					7	58
	救出人員	4		25	6	20	1	12					7	75
26	出動件数	3		68	14	1	1	25	1				19	132
	活動件数	3		35	8			9					7	62
	救出人員	2		38	10			9					7	66
27	出動件数	2	1	57	10		7	30	1				43	151
	活動件数	2	1	20	3		4	19	1				10	60
	救出人員	1	1	23	3		4	20	1				9	62

救 助 活 動 状 況

(平成27年)

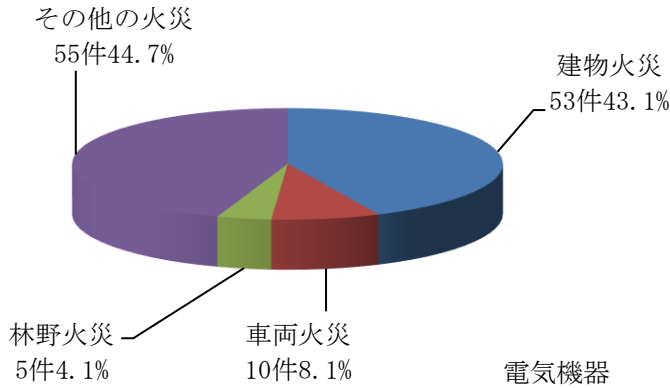
事故種別		火災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	事 故	機 械 に よ る 事 故	事 建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外											
区 分														
出動人員	救助隊員	12	5	275	74		28	135	3				223	755
	消防隊員	25	6	437	84		51	211	8				434	1,256
	救急隊員	9	3	279	36		21	96	3				135	582
	計	46	14	991	194		100	442	14				792	2,593
活動人員	救助隊員	12	5	83	15		8	53	3				39	218
	消防隊員	25	6	130	20		26	120	8				74	409
	救急隊員	9	3	102	6		12	54	3				30	219
	計	46	14	315	41		46	227	14				143	846
出動車両	救助工作車	2	1	45	9		4	25	1				35	122
	水槽付ポンプ車	6	1	93	20		11	39	1				98	269
	はしご車												2	2
	化学車			1				1					1	3
	指揮車	4	2	112	20		14	59	2				86	299
	救急車	3	1	93	13		7	32	1				44	194
	計	15	5	344	62		36	156	5				266	889
活動車両	救助工作車	2	1	11	2		1	8	1				5	31
	水槽付ポンプ車	6	1	32	5		5	24	1				16	90
	はしご車												1	1
	化学車												1	1
	指揮車	4	2	30	4		5	29	2				16	92
	救急車	3	1	34	3		4	18	1				10	74
	計	15	5	107	14		15	79	5				49	289

火災統計

火災種別発生状況

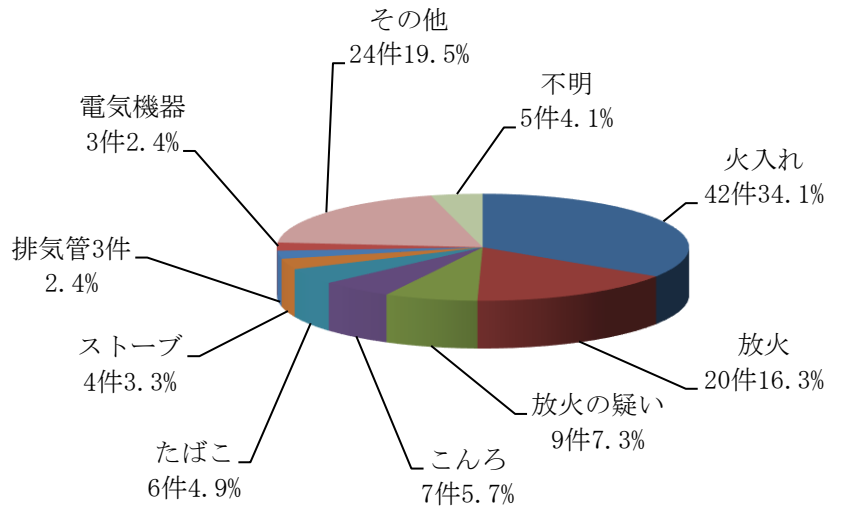
火災件数 1 2 3 件

(平成27年)



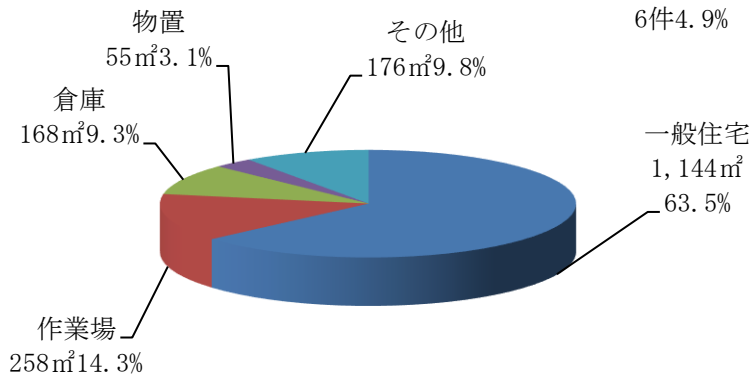
出火原因別火災件数

火災件数 1 2 3 件



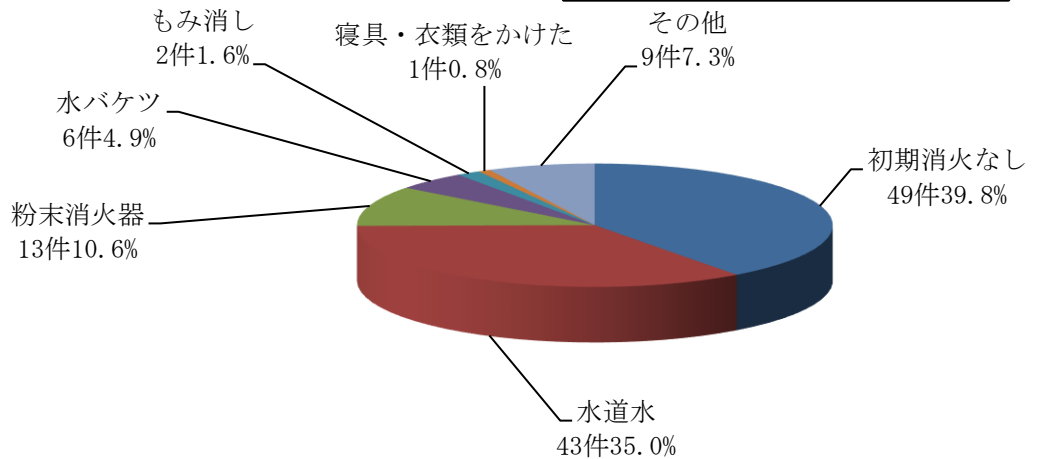
建物用途別焼損面積

焼損面積 1, 8 0 1 m²



初期消火器具使用状況

火災件数 1 2 3 件



火災概況及び比較表

(平成25年～平成27年)

区 分		年 別		平成25年		平成26年		平成27年		昨年との比較
		平成25年	平成26年	平成27年	昨年との比較					
火災発生件数	合 計	130	113	123	10					
	建 物 火 災	51	39.2%	42	37.2%	53	43.1%	11		
	林 野 火 災	7	5.4%	2	1.8%	5	4.1%	3		
	車 両 火 災	8	6.2%	6	5.3%	10	8.1%	4		
	船 舶 火 災									
	航空機火災									
	その他の火災	64	49.2%	63	55.7%	55	44.7%	△8		
焼失棟数	合 計	75	58	78	20					
	ぼ や	32	28	35	7					
	部 分 焼	15	8	18	10					
	半 焼	4	2	4	2					
	全 焼	24	20	21	1					
焼失面積	建 物 (㎡)	2,414	1,805	1,801	△4					
	林 野 (a)	21	18	7	△11					
罹災世帯数	合 計	40	30	39	9					
	小 損	27	17	28	11					
	半 損	7	3	2	△1					
	全 損	6	10	9	△1					
	人 員	105	64	118	54					
損害額(千円)	合 計	215,671	111,975	81,582	△30,393					
	建 物 火 災	213,275	110,798	72,937	△37,861					
	林 野 火 災	487								
	車 両 火 災	694	963	1,611	648					
	船 舶 火 災									
	航空機火災									
	その他の火災	1,215	214	7,034	6,820					
死傷者	死 者	6	7	5	△2					
	負 傷 者	10	12	17	5					
1 件平均損害額(千円)		1,659	991	663	△328					
1 日平均損害額(千円)		591	307	224	△83					
建物火災のみ 1 件平均損害額(千円)		4,182	2,638	1,376	△1,262					
建物火災のみ 1 日平均損害額(千円)		584	304	200	△104					
出 火 率 (人口1万人当たり)		6.7	5.9	6.5	0.6					

市町別火災発生状況

(平成27年)

火災種別 市町別	建物火災			林野火災			車両火災			船舶火災			航空機火災			その他の火災		件数計
	件数	焼失面積 (㎡)	損害見積額 (千円)	件数	焼失面積 (a)	損害見積額 (千円)	件数	焼失数 (台)	損害見積額 (千円)	件数	焼失数 (隻)	損害見積額 (千円)	件数	焼失数 (機)	損害見積額 (千円)	件数	損害見積額 (千円)	
	東 金 市	20	206 (表) 29	17,853	2	1	0	1	1	30							14	
山 武 市	13	399 (表) 24	5,771	2	4	0	4	5	896							16	6,970	35
大 網 白 里 市	13	697 (表) 43	25,346				2	2	186							13	5	28
九 十 九 里 町	4	63 (表) 6	5,329				3	3	499							7	0	14
芝 山 町	3	436 (表)	18,638	1	2	0										5	0	9
計	53	1,801 (表) 102	72,937	5	7	0	10	11	1,611							55	7,034	123

※(表)は、表面積

火災件数及び損害状況

(平成18年～平成27年)

年 別	件 数	火災種別						焼損面積		損 害 額 (千円)						計
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物 (㎡)	林 野 (a)	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	
18	121	62	9	6			44	2,518	48	207,575	291	1,389			160	209,415
19	127	62	7	14			44	3,500	16	177,721	758	28,676			491	207,646
20	170	52	11	13			94	3,554	30	315,486	762	3,422			2,835	322,505
21	145	61	2	11	1		70	2,793	1	214,176	81	5,201	28		412	219,898
22	147	61	10	12			64	4,245	10	211,560	47	691			853	213,151
23	223	54	22	16			131	4,352	161	372,769	3,290	4,023			3,442	383,524
24	133	61	14	8			50	4,620	51	189,448	700	5,406			3,491	199,045
25	130	51	7	8			64	2,414	21	213,275	487	694			1,215	215,671
26	113	42	2	6			63	1,805	18	110,798		963			214	111,975
27	123	53	5	10			55	1,801	7	72,937		1,611			7,034	81,582

月別火災発生件数及び損害状況

(平成27年)

種別 月別	建物火災			林野火災			車両火災			船舶火災			航空機火災			その他の火災		死傷者	
	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失面積 (㎡)	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失面積 (a)	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失数 (台)	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失数 (隻)	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失数 (機)	件数 (件)	損害額 (千円)	死者	負傷者
1	9	1,940	238	2	0	5									8	0	1		
2	7	15,958	524	1	0	0	1	281	1						14	6,955		1	
3	1	4	0	1	0	1									4	0			
4	4	2,689	143															3	
5	2	122	0	1	0	1	1	133	1						9	17	1	2	
6	5	14,072	119												1	1	1		
7	6	10,668	167				2	576	3						5	1	1	2	
8	8	2,460	13				3	485	3						6	11	1	3	
9	4	13,693	274												3	1		1	
10	2	4,930	59				1	2	1						3	0		1	
11	3	6,377	264				1	116	1									2	
12	2	24	0				1	18	1						2	48		2	
計	53	72,937	1,801	5	0	7	10	1,611	11						55	7,034	5	17	

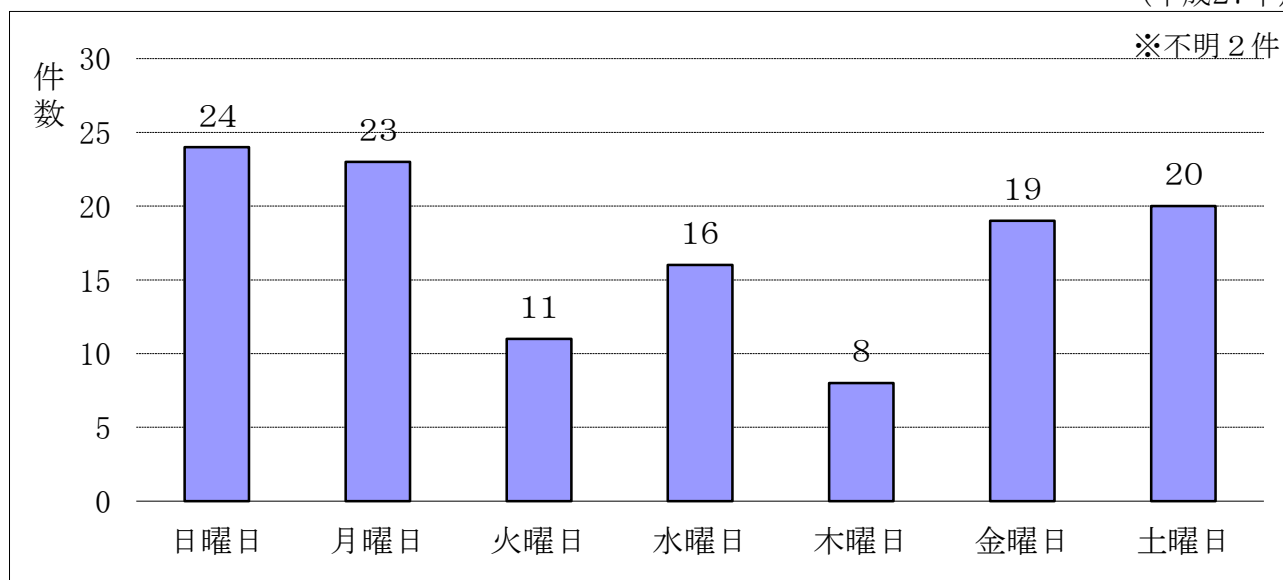
時間別火災発生状況

(平成27年)

月別 件数 時間	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	種 別						
														建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
														53	5	10	0	0	55	
0~1	0																			
1~2	5						1		3				1	4		1				
2~3	2				1				1					2						
3~4	1		1													1				
4~5	2		1						1					1		1				
5~6	3	1	1						1					1						2
6~7	5						1	1	1	1	1			2		1				2
7~8	5	1	3						1					4						1
8~9	6	2				3							1	2	1					3
9~10	2					1			1											2
10~11	10	2	3			1		1		1	2			5						5
11~12	8	1	3			1		1	1	1				5						3
12~13	9	3			1	1		1	2	1				4		1				4
13~14	12	1	4	1		1		1	1		1		2		1	1				10
14~15	10	3				1	1	1	1	2			1	2		1				7
15~16	6	1	1	1	1						1	1		2	1					3
16~17	6			2				1	2			1			1	2				3
17~18	6	2	1			1			1	1				3						3
18~19	5	1	1		1	1	1							2						3
19~20	2						1					1		2						
20~21	7	1	1	2					3					5						2
21~22	6		1			1			2			1	1	4	1	1				
22~23	0																			
23~24	2		1				1							2						
不明	3		1			1			1					1						2

曜日別火災発生状況

(平成27年)



年別火災原因別件数

(平成23年～平成27年)

原因別 \ 年別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	備考
火入れ	66	34	41	47	42	枯草、枯枝、枯葉、廃材、ごみ等の焼却及び焼却の火の粉等に分類されるもの
放火	31	13	17	14	20	放火自殺、放火殺人を含む
放火の疑い	28	12	16	7	9	放火自殺、放火殺人を含む
こんろ	6	7	5	6	7	電気、ガス、石油、七輪、まき等を燃料とするこんろ及びこんろの火の粉等に分類されるもの
たばこ	10	5	5	8	6	たばこに分類されるもの
ストーブ	3	8	5	3	4	電気、ガス、石油、まき、石炭等を燃料とするストーブ及びストーブの火の粉等に分類されるもの
排気管	5	3	5	2	3	排気管及び排気管の火の粉等に分類されるもの
電気機器	10	3	4	0	3	電気による発熱体のうち、電灯電話等の配線に分類されるもの
配線器具	2	0	1	0	3	電気による発熱体のうち、配線器具に分類されるもの
マッチ・ライター	1	2	3	0	3	マッチ、ライター等
電気装置	1	2	2	2	2	電気による発熱体のうち、電気装置に分類されるもの
溶接機、切断機	1	1	0	1	2	溶接機、自動半田付け機、ガス油類を燃料とする溶接機・切断機等
取灰	2	1	3	0	2	かいろ灰、取灰、消し炭薪、石炭がら、すす等に分類されるもの。
その他	24	31	18	14	12	上記のいずれにも分類されないもの
不明	33	11	5	9	5	発火源または経過が不明なもの
計	223	133	130	113	123	

火事と救急・救助 119

火災の問い合わせ

0475 (52) 0404

休日・夜間診療の問い合わせ

0475 (55) 0119

消防年報 平成27年版

発行 平成28年8月

編集 山武郡市広域行政組合消防本部・総務課企画係

〒283-0062 千葉県東金市家徳384番地2

TEL 0475 (52) 8751

FAX 0475 (55) 0131

URL : <http://www.sanbukouiki-chiba.jp/FDHP/newfd.119.html>

E-mail : fd.soumu@sanbukouiki-chiba.jp